

2-3 要支援・要介護認定者調査

(1) ご本人について

①調査票の記入者

<図表141> 調査票の記入者

| 調査数 | 調査票の記入者 | | | |
|-----|---------|-----|-----|-----|
| | 本人 | 家族 | その他 | 無回答 |
| 837 | 466 | 266 | 5 | 100 |

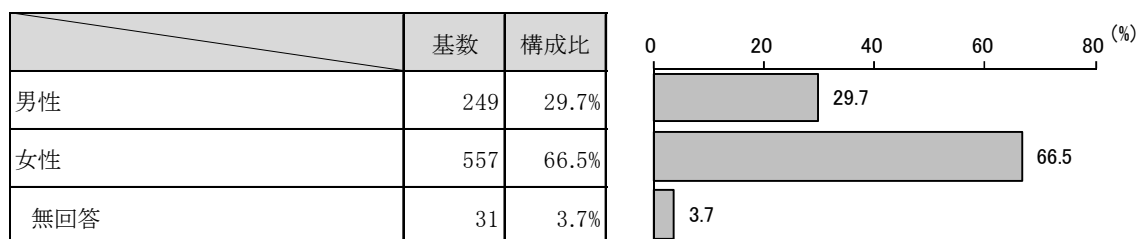
②現在の状況（本人の不在の事情）

<図表142> 現在の状況（本人の不在の事情）

| 調査数 | 現在の状況（本人の不在の事情） | | | | | |
|-----|-----------------|--------------|----|----|-----|--------------|
| | 医療機関 に入院中 | 福祉施設 に入所中 | 転居 | 死亡 | その他 | 左記に該 当しない |
| 837 | 18 | 5 | - | 2 | 13 | 799 |

③性別

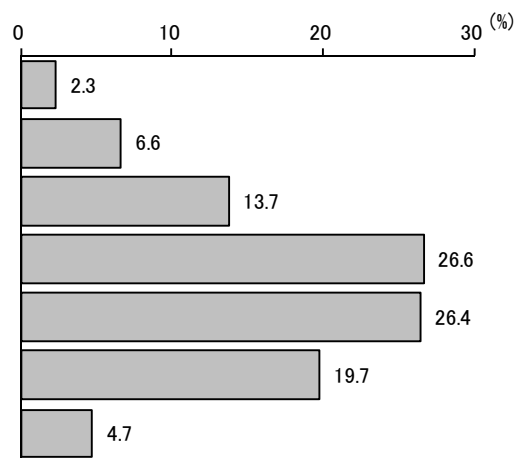
<図表143> 性別



④年齢

<図表144> 年齢

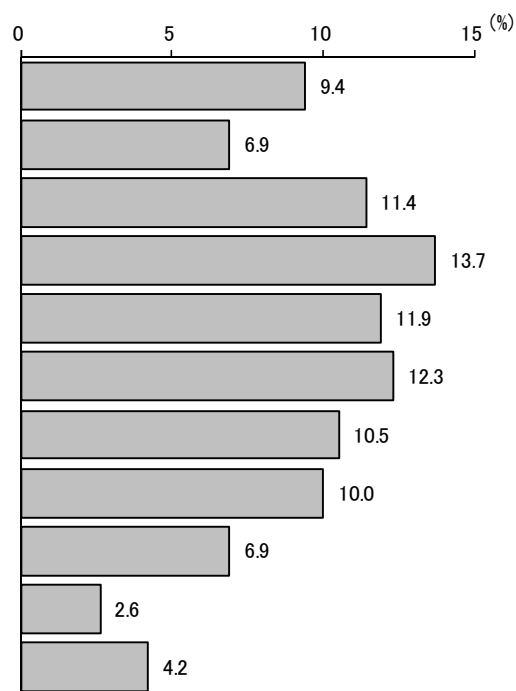
| | 基数 | 構成比 |
|---------|-----|-------|
| 65歳～69歳 | 19 | 2.3% |
| 70歳～74歳 | 55 | 6.6% |
| 75歳～79歳 | 115 | 13.7% |
| 80歳～84歳 | 223 | 26.6% |
| 85歳～89歳 | 221 | 26.4% |
| 90歳以上 | 165 | 19.7% |
| 無回答 | 39 | 4.7% |



⑤お住まいの地区

<図表145> お住まいの地区

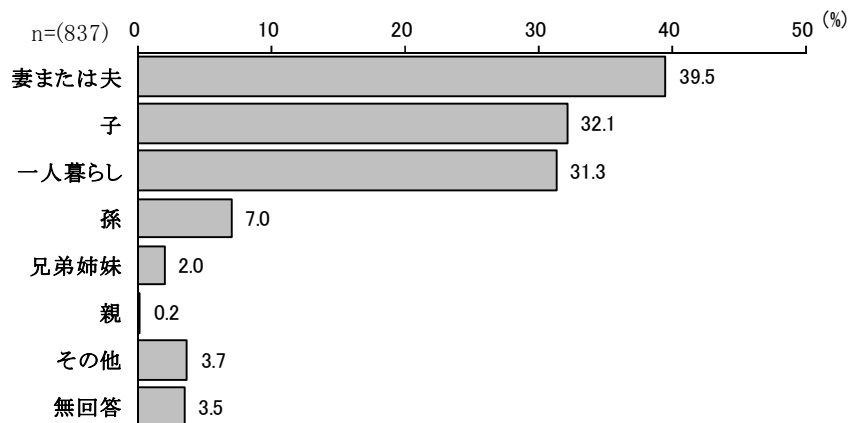
| | 基数 | 構成比 |
|------|-----|-------|
| 四谷 | 79 | 9.4% |
| 簗笥町 | 58 | 6.9% |
| 榎町 | 95 | 11.4% |
| 若松町 | 115 | 13.7% |
| 大久保 | 100 | 11.9% |
| 戸塚 | 103 | 12.3% |
| 落合第一 | 88 | 10.5% |
| 落合第二 | 84 | 10.0% |
| 柏木 | 58 | 6.9% |
| 角筈 | 22 | 2.6% |
| 無回答 | 35 | 4.2% |



⑥同居者

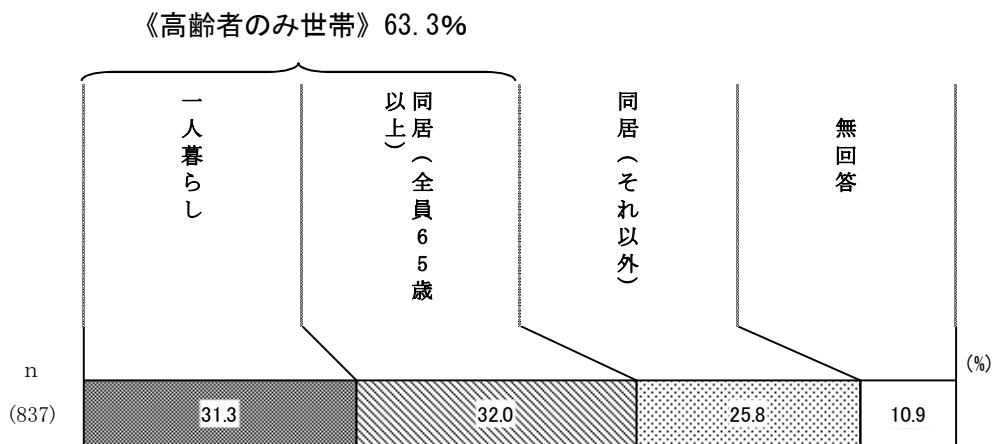
問4 現在、あなたはどなたかと同居していますか。同居している場合は、あなたからみた続柄で、同居している方すべてに○をしてください。(あてはまるものすべてに○)

<図表146> 同居者 (複数回答)



同居の状態についてたずねたところ、「一人暮らし」(31.3%)が3割強となっている。同居者は、「妻または夫」(39.5%)が4割弱、「子」(32.1%)が3割強となっている。

<図表147> 世帯構成

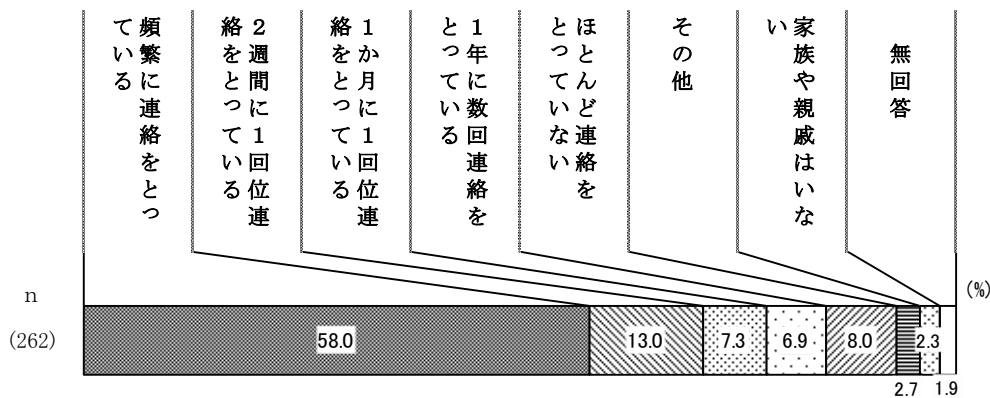


世帯構成についてたずねたところ、「一人暮らし」(31.3%)と「同居(全員65歳以上)」(32.0%)をあわせた《高齢者のみ世帯》は63.3%となっている。

⑦家族や親戚との連絡

問4-1 《問4で「一人暮らし」を選んだ方のみお答えください》
 あなたは、ご家族やご親戚と連絡をどのくらいとっていますか。(1つに○)

<図表148> 家族や親戚との連絡

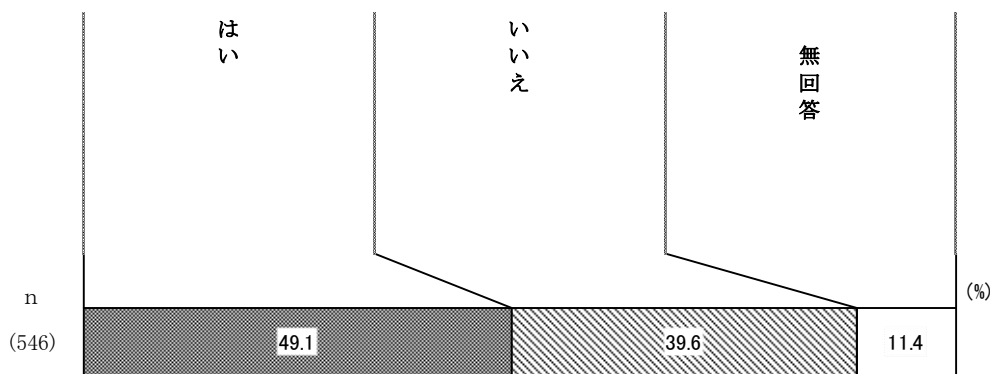


問4で「一人暮らし」と回答した人に家族や親戚と連絡をとっている頻度についてたずねたところ、「頻繁に連絡をとっている」(58.0%)が6割近くで最も高くなっている。

⑧同居者の年齢(全員65歳以上か否か)

問4-2 《問4でどなたかと同居している方のみお答えください》
 同居の方は、全員65歳以上ですか。(1つに○)

<図表149> 同居者の年齢(全員65歳以上か否か)

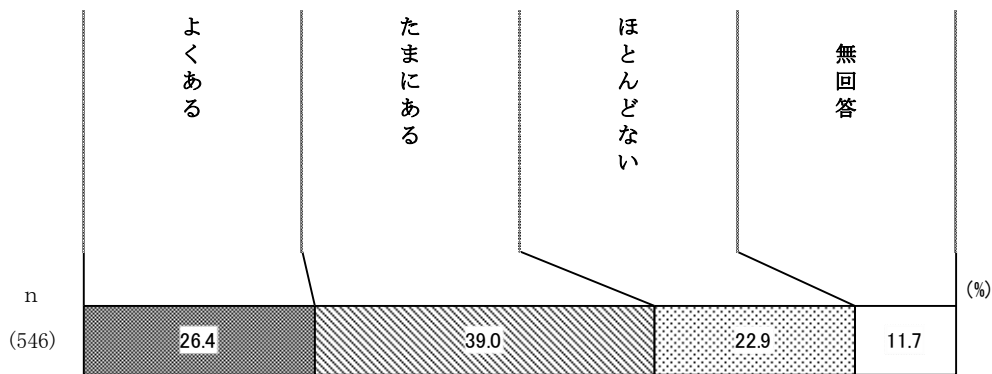


問4で《同居者がいる》と回答した人に同居者が全員65歳以上かについてたずねたところ、「はい」(49.1%)は5割弱、「いいえ」(39.6%)は4割弱となっている。

⑨日中の独居状況

問4-3 《問4でどなたかと同居している方のみお答えください》
日中、一人になることはありますか。(1つに○)

<図表150> 日中の独居状況

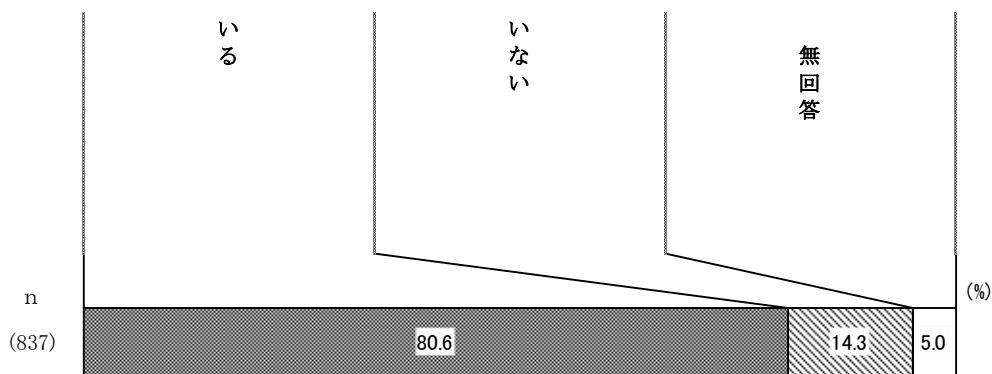


問4で《同居者がいる》と回答した人に日中一人になることがあるかについてたずねたところ、「たまにある」(39.0%)が4割近くで最も高く、次いで、「よくある」(26.4%)、「ほとんどない」(22.9%)の順となっている。

⑩同居者以外に手助けを頼める人の有無

問5 あなたが日常生活で困ったことがあったとき、同居者以外に誰か手助けを頼める人がいますか。(1つに○)

<図表151> 同居者以外に手助けを頼める人の有無

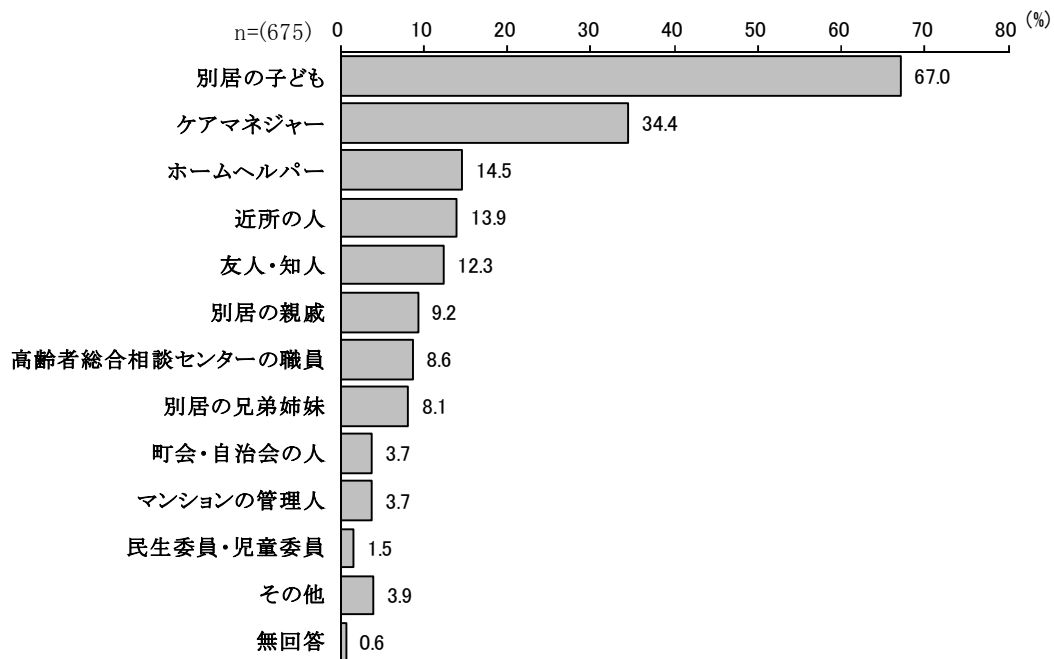


同居者以外に日常生活で困ったときに手助けを頼める人の有無についてたずねたところ、「いる」(80.6%)は約8割となっている。

⑪手助けを頼める人

問5-1 <<問5で「いる」を選んだ方のみお答えください>>
手助けを頼める人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

<図表152> 手助けを頼める人(複数回答)

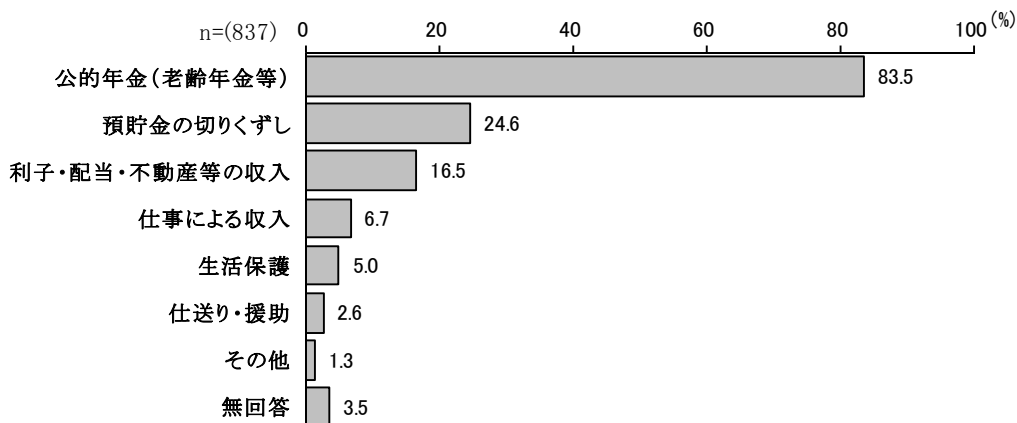


問5で同居者以外に手助けを頼める人が「いる」と回答した人に、その相手についてたずねたところ、「別居の子ども」(67.0%)が6割台半ばを超えて最も高く、次いで、「ケアマネジャー」(34.4%)、「ホームヘルパー」(14.5%)の順となっている。

⑫自身の収入

問6 あなたご本人の収入は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

<図表153> 自身の収入 (複数回答)

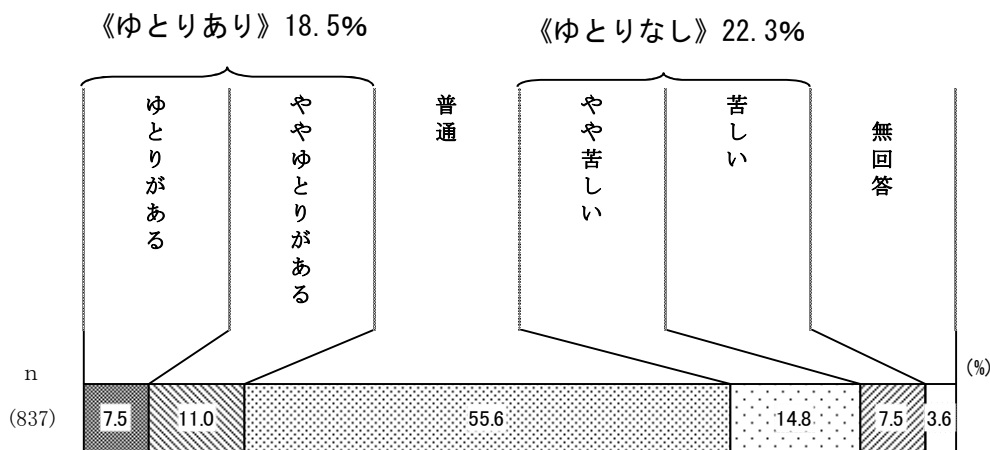


自身の収入についてたずねたところ、「公的年金(老齢年金等)」(83.5%)が8割台半ば近くと最も高く、次いで、「預貯金の切りくずし」(24.6%)、「利子・配当・家賃・不動産等の収入」(16.5%)の順となっている。

⑬現在の暮らし向き

問7 あなたは、現在のご自身の暮らし向きをどのように感じていますか。(1つに○)

<図表154> 現在の暮らし向き



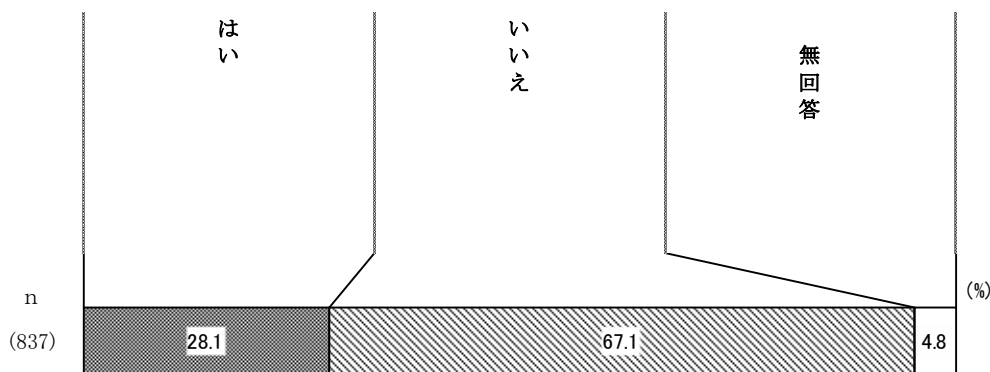
現在の暮らし向きについてたずねたところ、「普通」(55.6%)が5割台半ばと最も高く、「ゆとりがある」(7.5%)と「ややゆとりがある」(11.0%)をあわせた《ゆとりあり》は18.5%となっている。

(2) お住まいについて

①住まいにおける不便・不安の有無

問8 あなたは、現在のお住まいに不便や不安を感じていますか。(1つに○)

<図表155> 住まいにおける不便・不安の有無

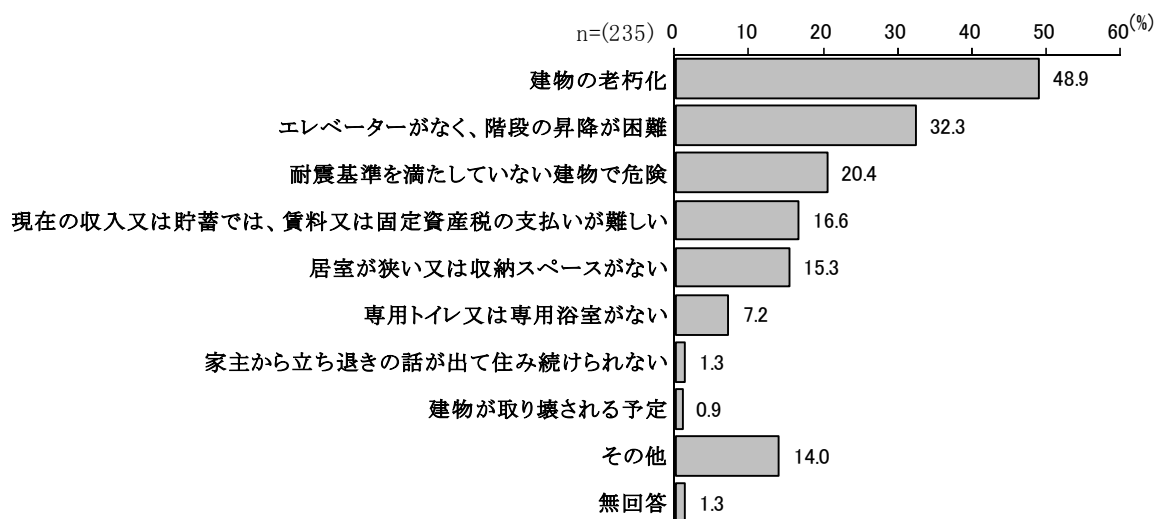


住まいにおける不便・不安の有無についてたずねたところ、「はい」(28.1%)は3割近く、「いいえ」(67.1%)は6割台半ばを超えている。

②住まいにおける不便・不安を感じる理由

問8-1 <<問8で「はい」を選んだ方のみお答えください>>
その理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

<図表156> 住まいにおける不便・不安を感じる理由(複数回答)

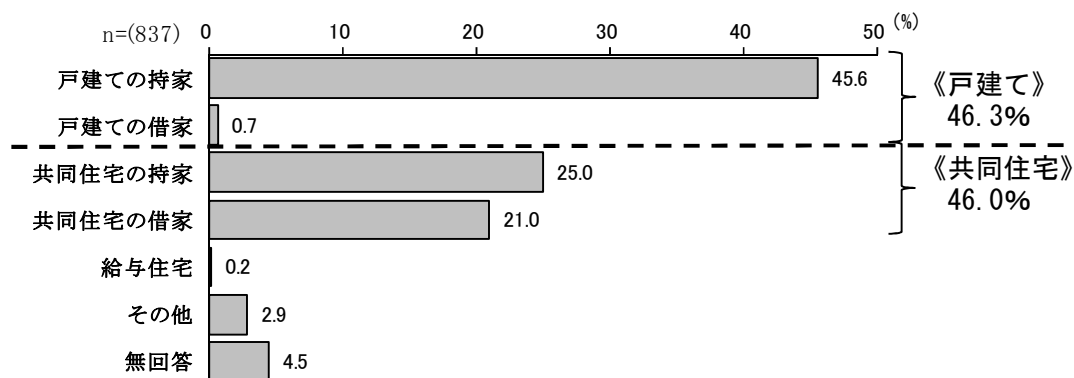


問8で住まいにおける不便・不安を感じているかについて「はい」と回答した人についてたずねたところ、「建物の老朽化」(48.9%)が5割近くと最も高く、次いで、「エレベーターがなく、階段の昇降が困難」(32.3%)、「耐震基準を満たしていない建物で危険」(20.4%)の順となっている。

③住まいの形態

問9 現在のお住まいは、次のうちどれですか。(1つに○)

<図表 157> 住まいの形態

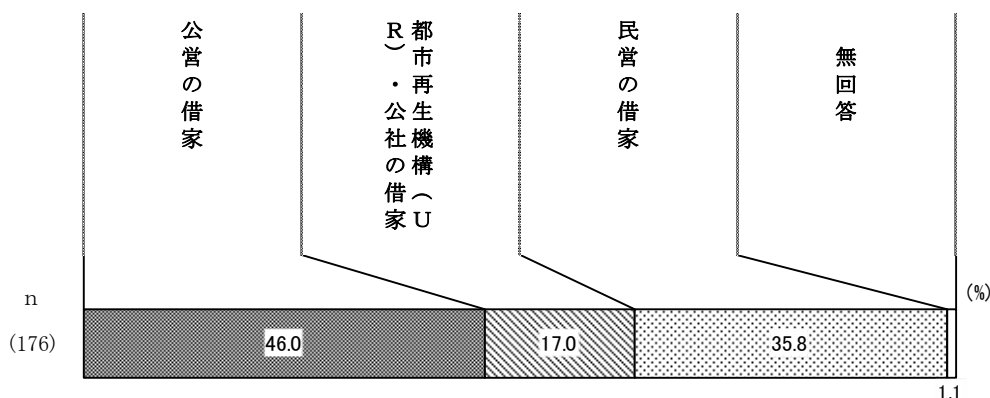


住まいの形態についてたずねたところ、「戸建ての持家」(45.6%)が4割台半ばと最も高く、次いで、「共同住宅の持家」(25.0%)の順となっている。《戸建て》(46.3%)は4割台半ばを超えており、《共同住宅》(46.0%)より0.3ポイント高くなっている。

④借家の種類

問9-1 <<問9で「共同住宅の借家」を選んだ方のみお答えください>>
該当する借家をお答えください。(1つに○)

<図表158> 借家の種類

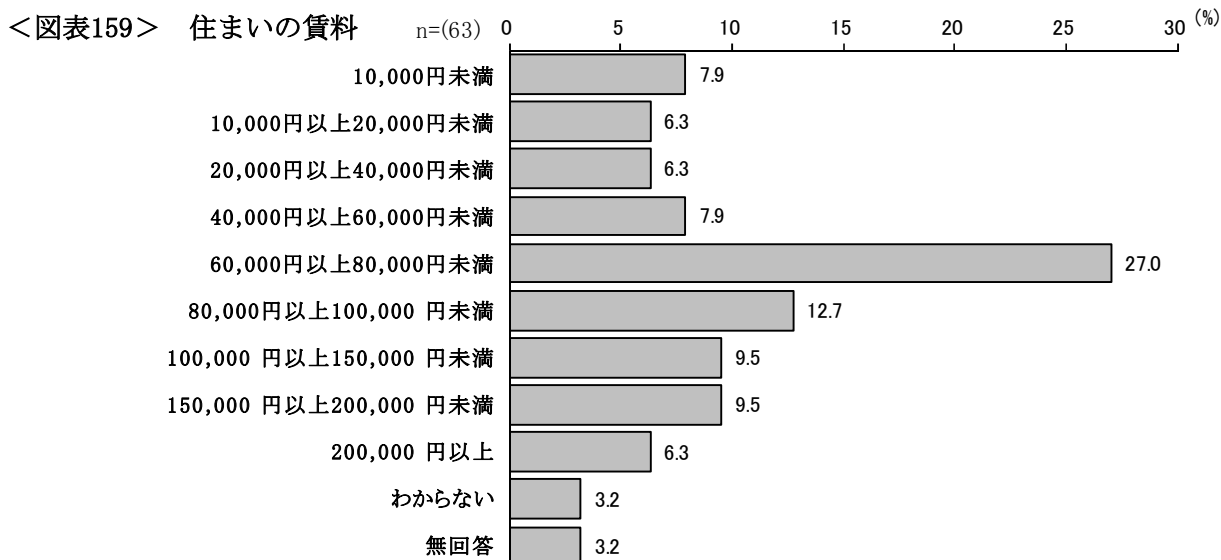


問9で「共同住宅の借家」と回答した人に、借家の種類についてたずねたところ、「公営の借家」(46.0%)が4割台半ばを超えて最も高く、次いで、「民営の借家」(35.8%)、「都市再生機構(U R)・公社の借家」(17.0%)の順となっている。

⑤住まいの賃料

問9-2 《問9-1で「民営の借家」を選んだ方のみお答えください》

民営の借家（民間賃貸住宅）にお住まいの方の賃料負担の実態を把握させていただくため、お住まいの賃料についてお答え下さい。（1つに○）

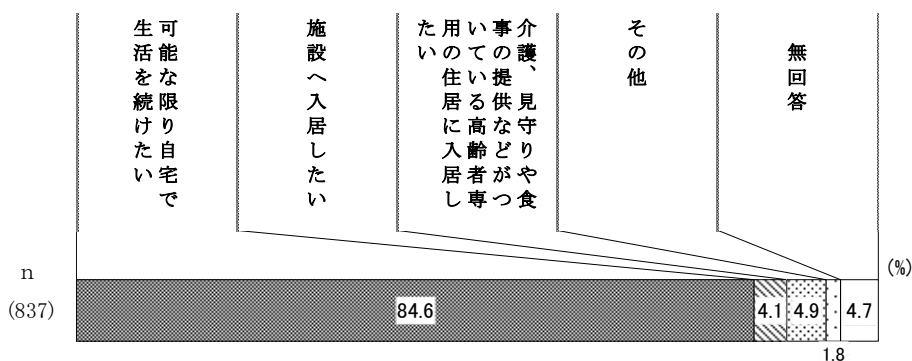


問9-1で「民営の借家」と回答した人に住まいの賃料についてたずねたところ、「60,000円以上80,000円未満」（27.0%）が2割台半ばを超えて最も高く、次いで、「80,000円以上100,000円未満」（12.7%）、「100,000円以上150,000円未満」及び「150,000円以上200,000円未満」（9.5%）の順となっている。

⑥現在の住まいに住み続けること

問10 あなたは、これからも今のお住まい（自宅等）で生活を続けたいと思いますか。（1つに○）

<図表160> 現在の住まいに住み続けること

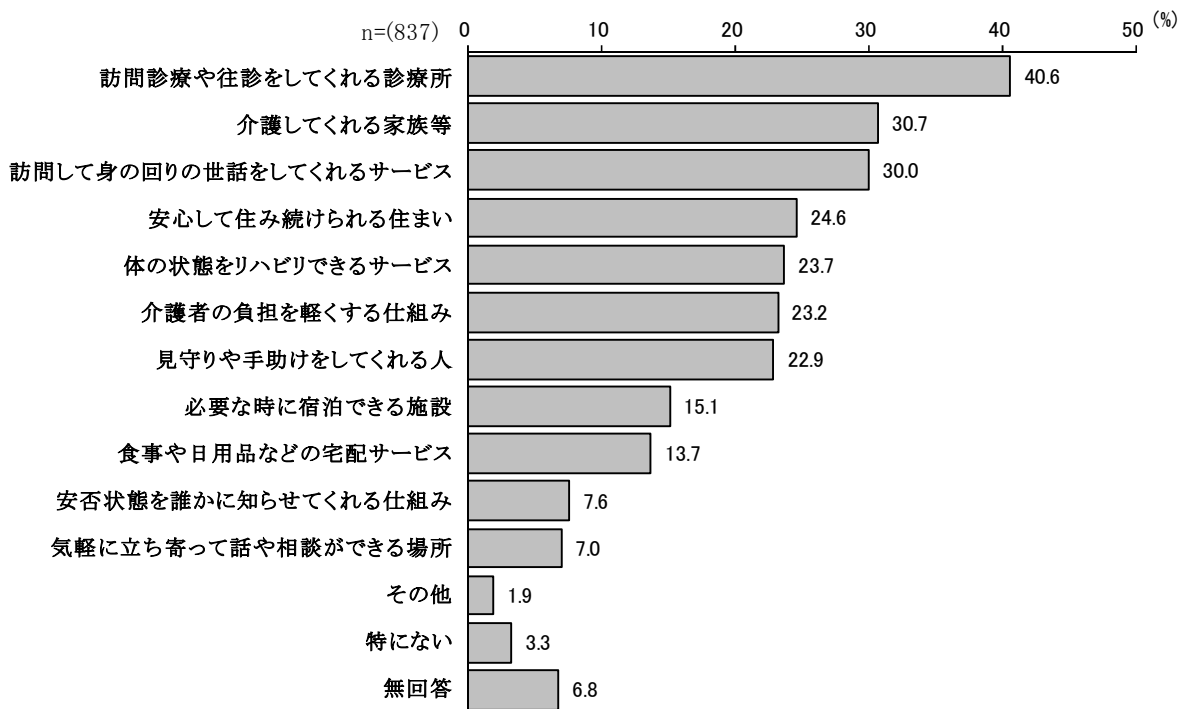


現在の住まいに住み続けることについてたずねたところ、「可能な限り自宅で生活を続けたい」（84.6%）は8割台半ば近くで最も高くなっている。

⑦在宅で暮らし続けるために特に重要だと思うもの

問11 今後も在宅で暮らし続けるために、あなたが特に重要だと思うものは、次のうちどれですか。(あてはまるもの3つに○)

<図表161> 在宅で暮らし続けるために特に重要だと思うもの（複数回答）



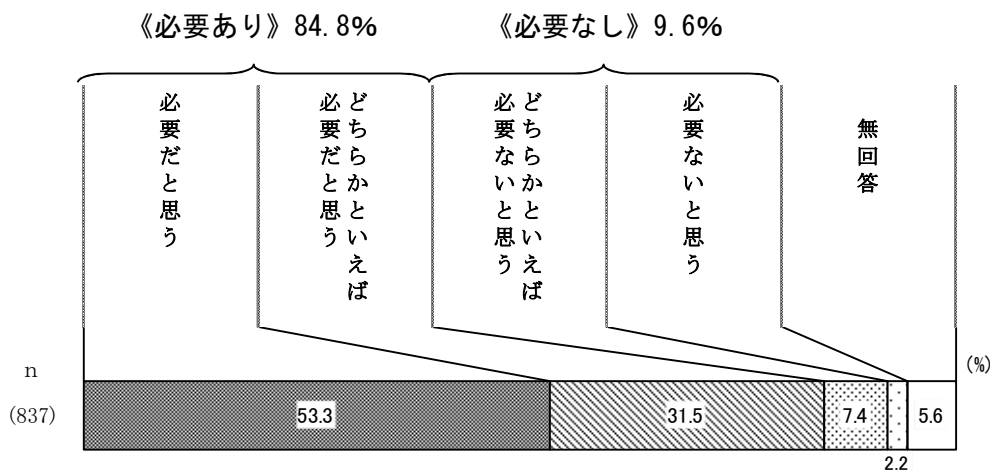
在宅で暮らし続けるために特に重要だと思うものについてたずねたところ、「訪問診療や往診をしてくれる診療所」(40.6%)が約4割で最も高く、次いで、「介護してくれる家族等」(30.7%)、「訪問して身の回りの世話をしてくれるサービス」(30.0%)、「安心して住み続けられる住まい」(24.6%)の順となっている。

(3) 地域での支え合いについて

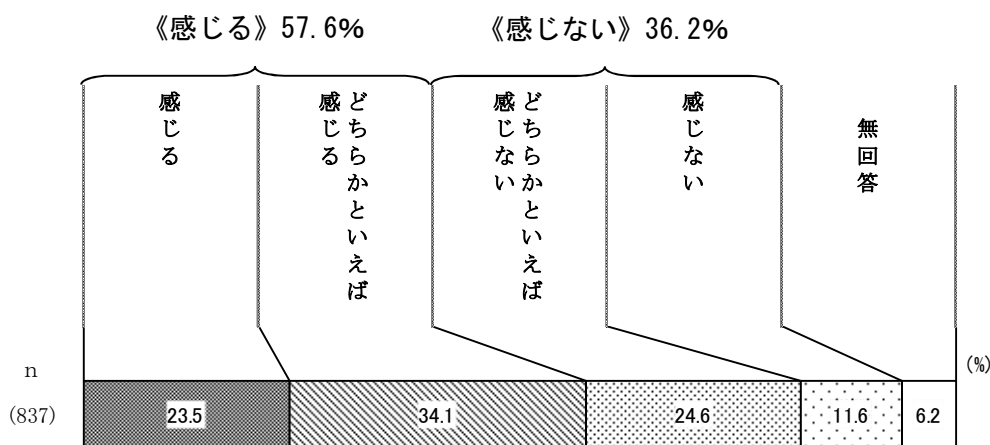
①地域のつながりの必要性と実感

問12 あなたの日々の暮らしの中で、地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合いなど）についておたずねします。（それぞれ1つに○）

<図表162> (1) 地域のつながりの必要性



<図表163> (2) 地域のつながりの実感



地域のつながりの必要性についてたずねたところ、「必要だと思う」(53.3%)と「どちらかといえ
ば必要だと思う」(31.5%)をあわせた《必要あり》は84.8%となっている。

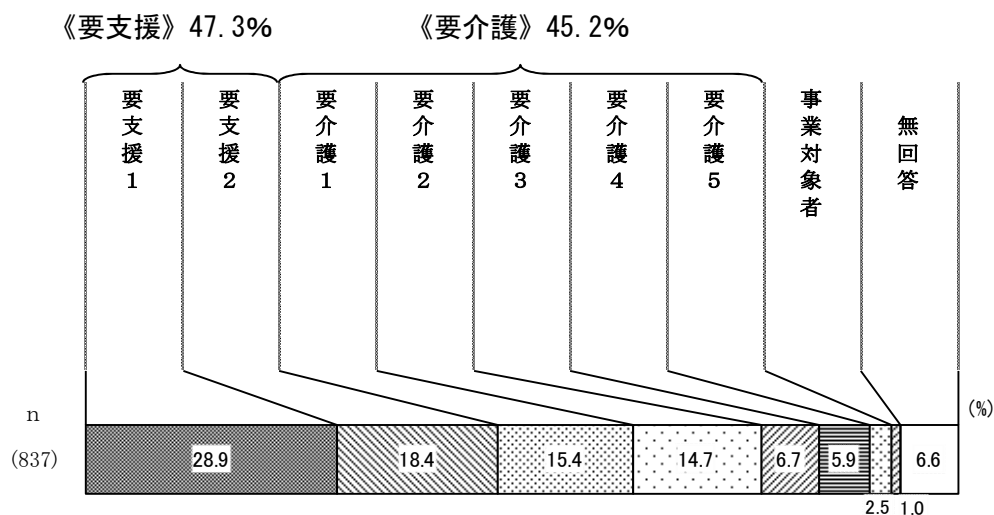
地域のつながりの実感についてたずねたところ、「感じる」(23.5%)と「どちらかといえ
ば感じる」(34.1%)をあわせた《感じる》は57.6%となっている。

(4) 要介護認定について

①現在の要介護度

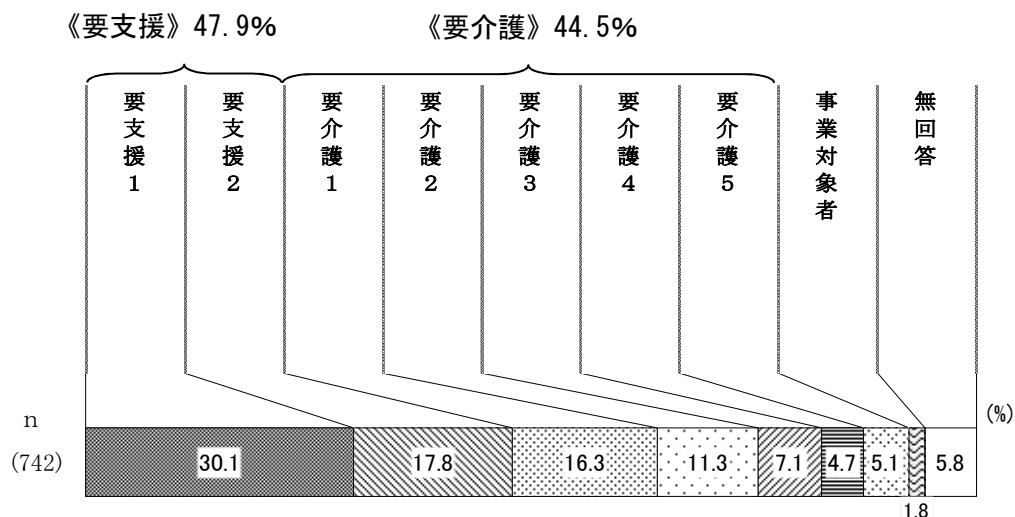
問13 あなたの現在の要介護度は、次のうちどれですか。おわかりにならない場合は、ご家族やケアマネジャーにおたずねになり、必ず記入してください。(1つに○)

<図表164> 現在の要介護度



要介護度についてたずねたところ、「要支援1」(28.9%)と「要支援2」(18.4%)をあわせた《要支援》は47.3%となっている。

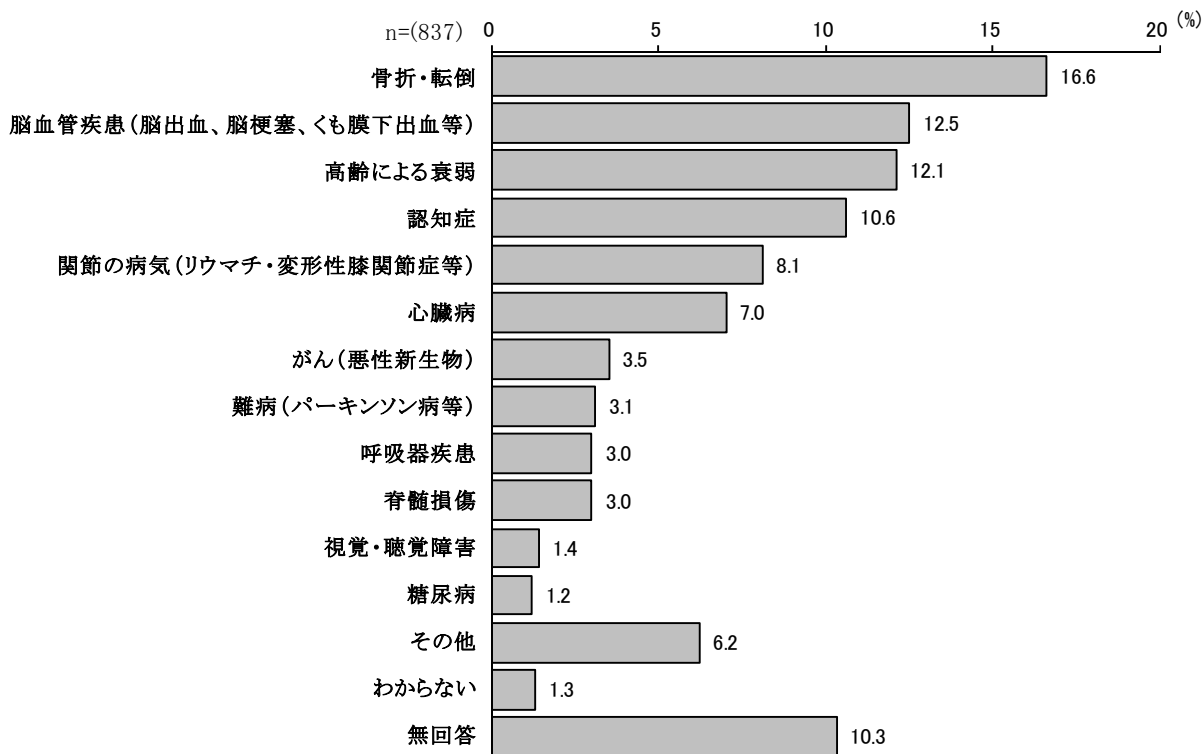
【参考】<図表165> 現在の要介護度(平成28年度調査)



②介護が必要となった主な原因

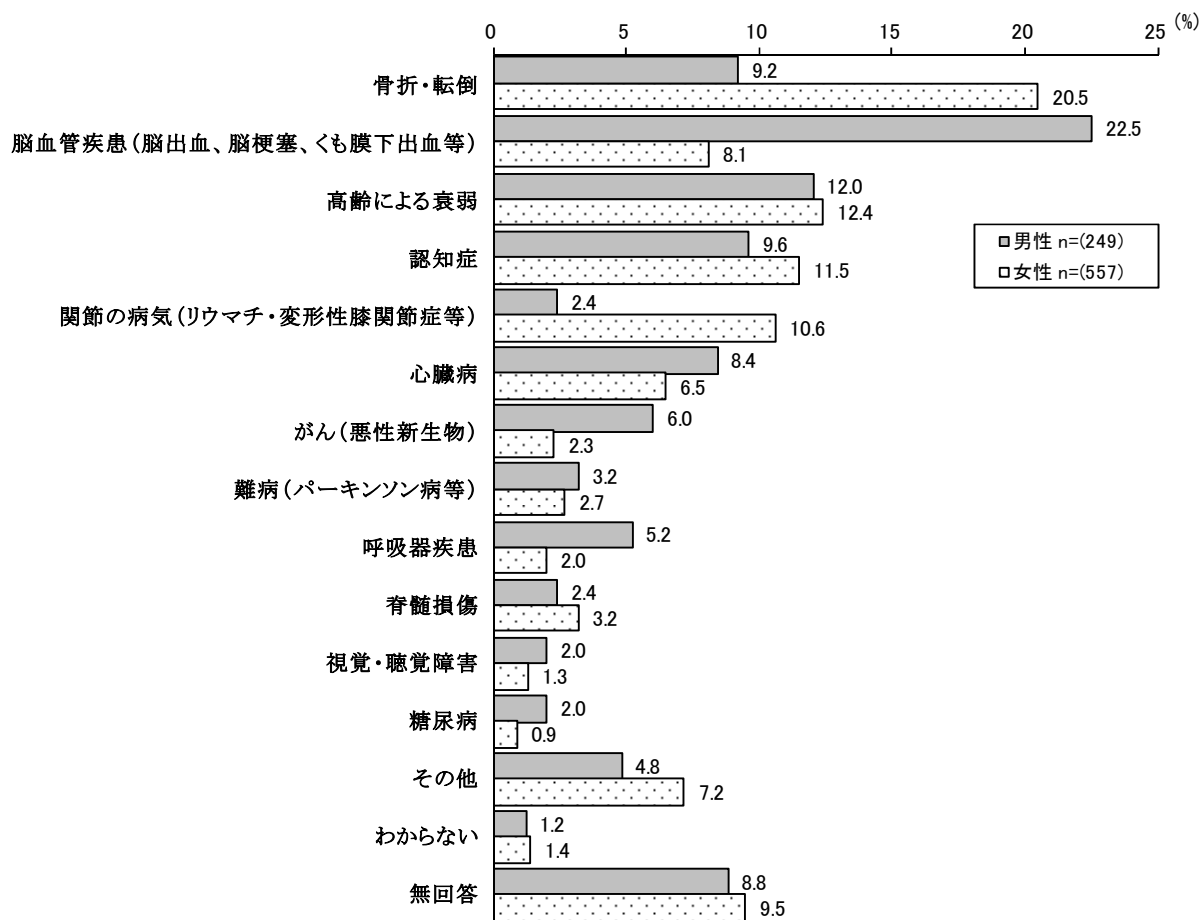
問14 あなたが、介護を必要とするようになった主な原因は、次のうちどれですか。
(1つに○)

<図表166> 介護が必要となった主な原因



介護が必要となった主な原因についてたずねたところ、「骨折・転倒」(16.6%)が1割台半ばを超えて最も高く、次いで、「脳血管疾患(脳出血、脳梗塞、くも膜下出血等)」(12.5%)、「高齢による衰弱」(12.1%)の順となっている。

<図表167> 介護が必要となった主な原因【性別】



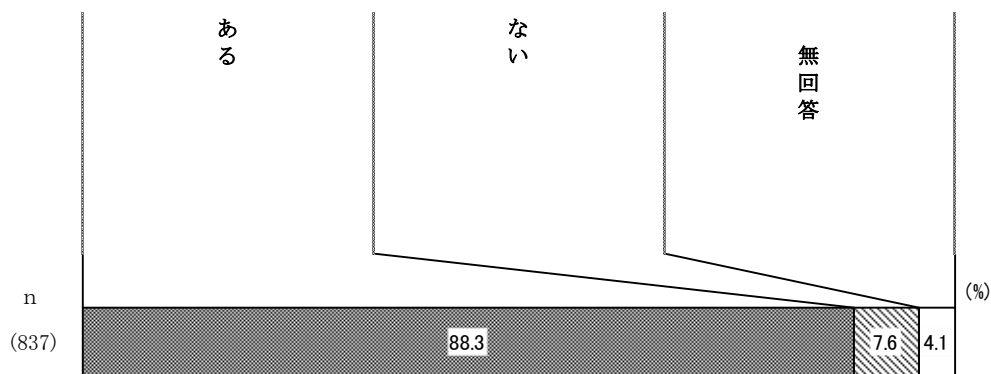
性別にみると、「骨折・転倒」は、女性の方が11.3ポイント高くなっている。また、「脳血管疾患(脳出血、脳梗塞、くも膜下出血等)」は、男性の方が14.4ポイント高くなっている。

(5) 健康状態や健康づくり等について

①治療中の病気の有無

問15 あなたは、現在治療中の病気がありますか。(1つに○)

<図表168> 治療中の病気の有無

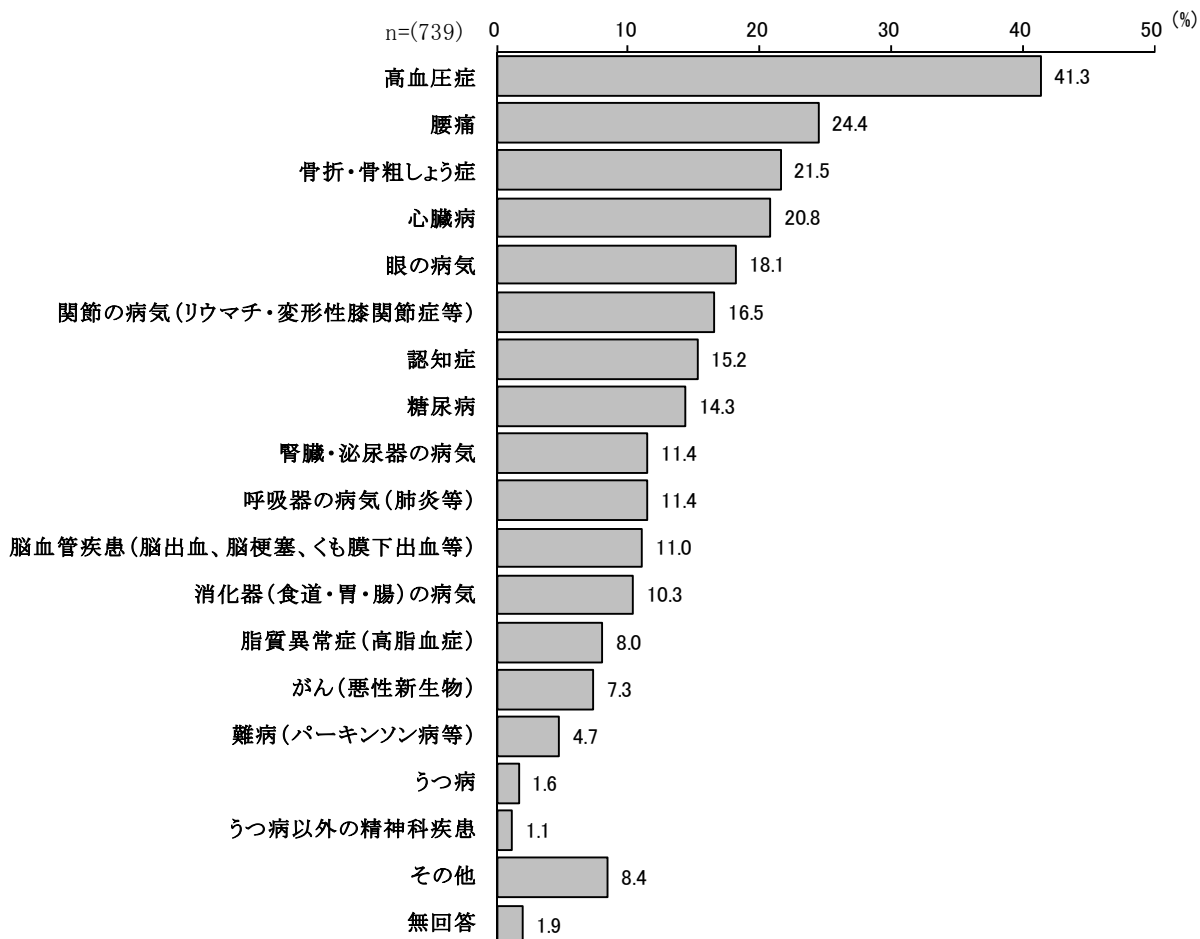


現在治療中の病気の有無についてたずねたところ、「ある」(88.3%)が9割近くとなっている。

②治療中の病気の種類

問15-1 ≪問15で「ある」を選んだ方のみお答えください≫
 治療中の病気は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

<図表169> 治療中の病気の種類（複数回答）

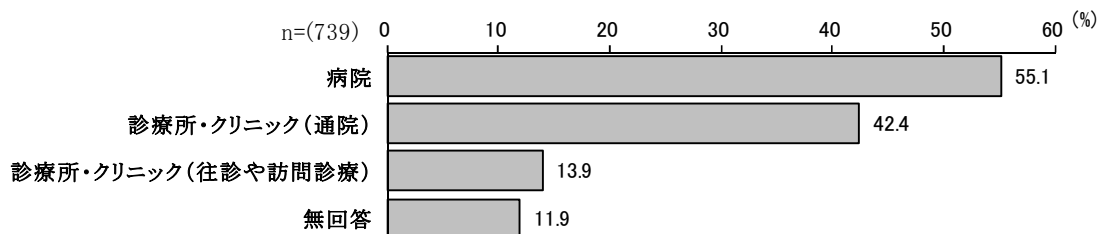


問15で治療中の病気が「ある」と回答した人に治療中の病気についてたずねたところ、「高血圧症」(41.3%)が4割強で最も高く、次いで、「腰痛」(24.4%)、「骨折・骨粗しょう症」(21.5%)の順となっている。「その他」では、関節痛、甲状腺、耳鼻の病気といった内容があげられた。

③受診している医療機関

問15-2 <<問15で「ある」を選んだ方のみお答えください>>
 受診している医療機関は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

<図表170> 受診している医療機関 (複数回答)

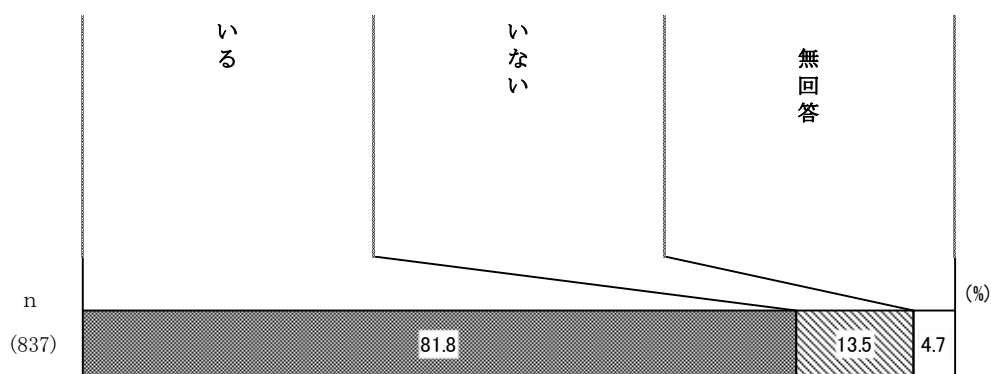


問15で治療中の病気が「ある」と回答した人に受診している医療機関についてたずねたところ、「病院」(55.1%)が5割台半ばで最も高く、次いで、「診療所・クリニック(通院)」(42.4%)の順となっている。

④かかりつけ医の有無

問16 あなたには、継続的に診療を受けていたり、体調が悪いときなどに気軽に相談できる診療所・クリニックの「かかりつけ医」がいますか。(1つに○)

<図表171> かかりつけ医の有無

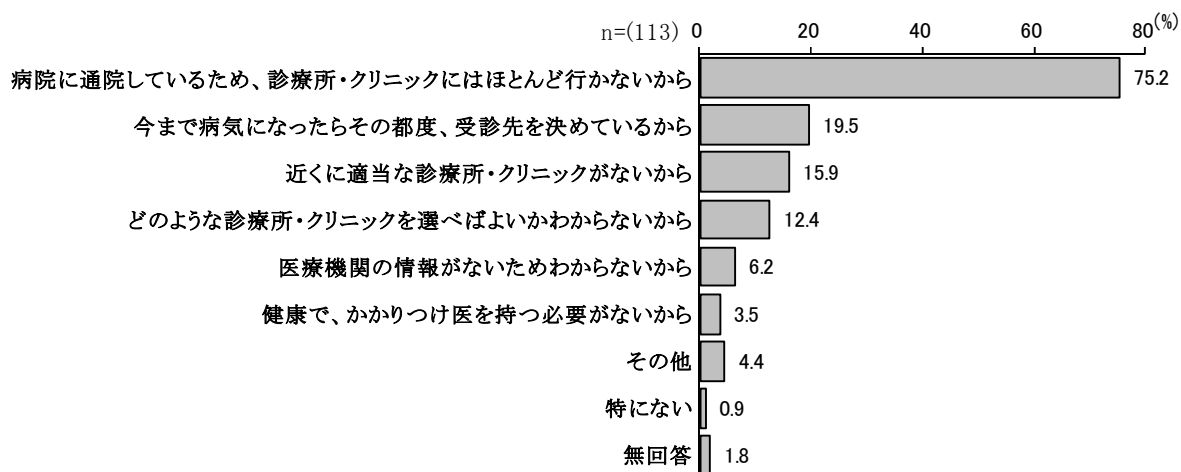


かかりつけ医の有無についてたずねたところ、「いる」(81.8%)が8割強となっている。

⑤かかりつけ医がない理由

問16-1 《問16で「いない」を選んだ方のみお答えください》
 かかりつけ医がない理由は、次のうちどれですか。
 (あてはまるものすべてに○)

<図表172> かかりつけ医がない理由 (複数回答)



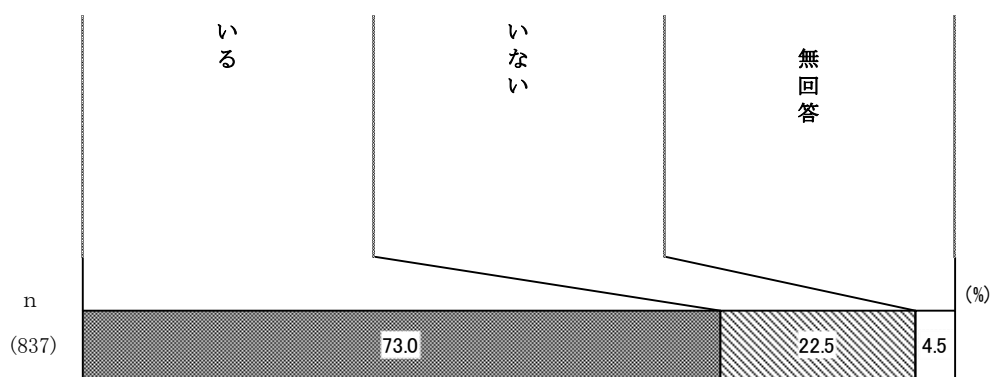
問16でかかりつけ医が「いない」と回答した人に、かかりつけ医がない理由についてたずねたところ、「病院に通院しているため、診療所・クリニックにはほとんど行かないから」(75.2%)が7割台半ばで最も高く、次いで、「今まで病気になったらその都度、受診先を決めているから」(19.5%)、「近くに適切な診療所・クリニックがないから」(15.9%)の順となっている。

(6) 歯科について

①かかりつけ歯科医の有無

問17 あなたは、治療や予防のために気軽に受診できる「かかりつけ歯科医」がいますか。
(1つに○)

<図表173> かかりつけ歯科医の有無

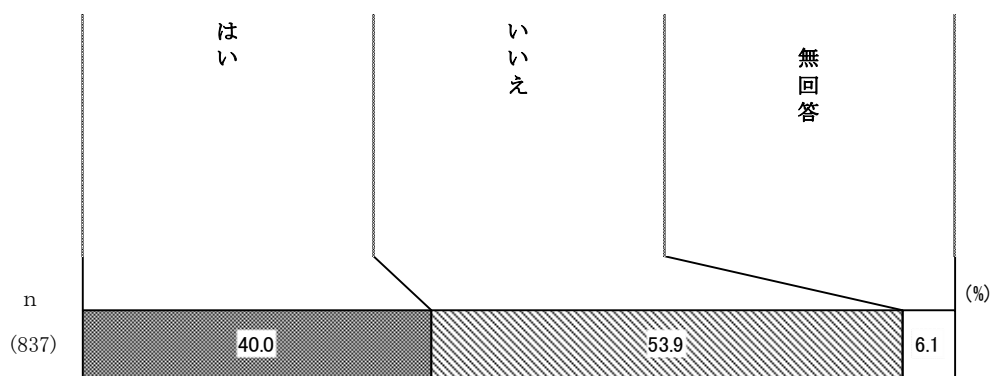


かかりつけ歯科医の有無についてたずねたところ、「いる」(73.0%)が7割台半ば近くとなっている。

②往診してくれる歯科医院の認知度

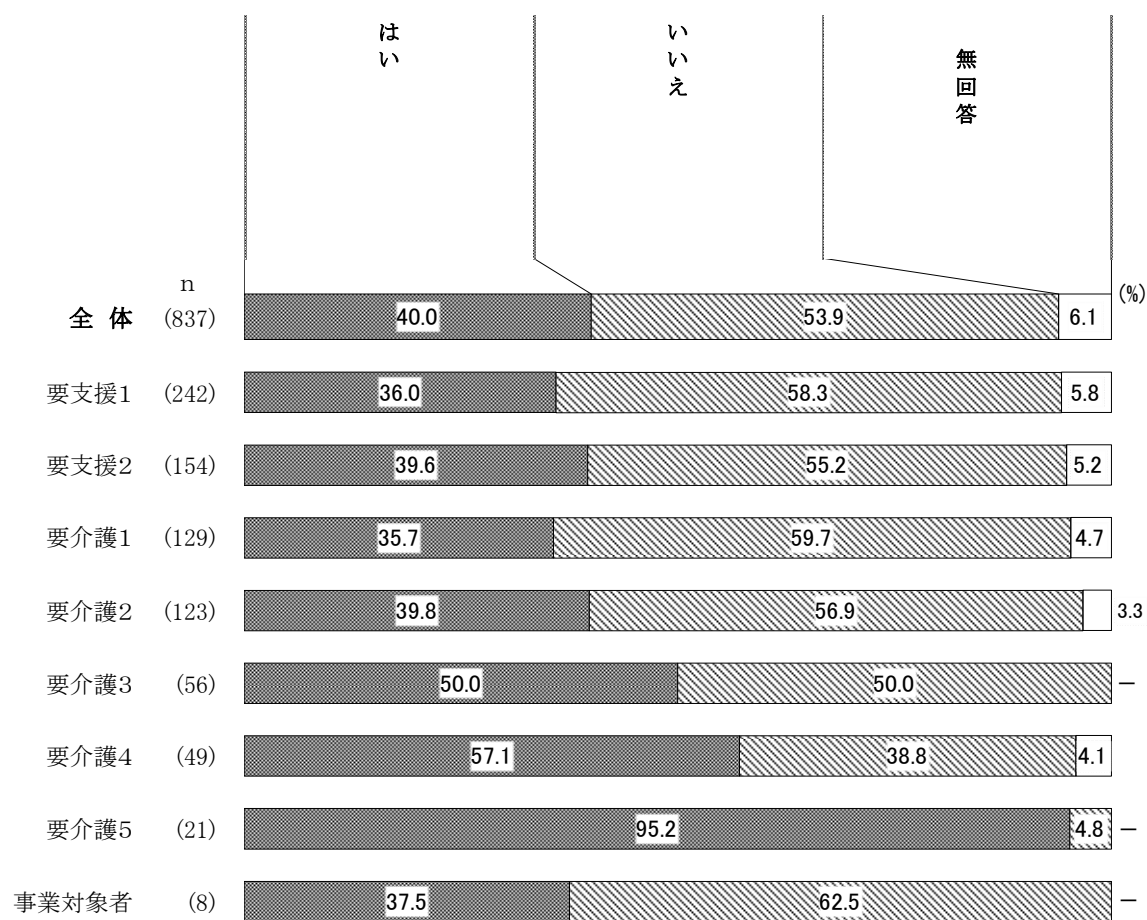
問18 あなたは、往診してくれる歯科医院があることをご存じですか。(1つに○)

<図表174> 往診してくれる歯科医院の認知度



往診してくれる歯科医院の認知度についてたずねたところ、「はい」(40.0%)が4割、「いいえ」(53.9%)は5割台半ば近くとなっている。

<図表175> 往診してくれる歯科医院の認知度【要介護度認定別（問13）】



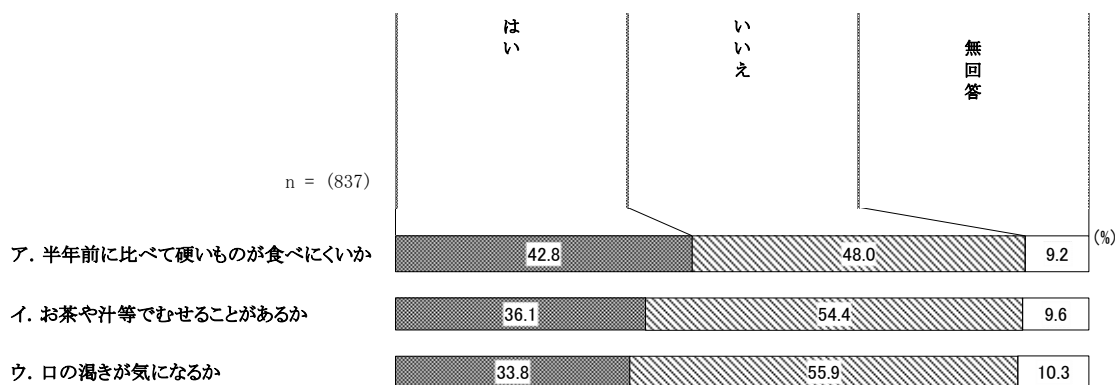
要支援・要介護度別にみると、要支援・要介護度が高くなるにつれて往診してくれる歯科医院の認知度が高くなる傾向がある。

(7) 摂食嚥下（食べる機能）について

① 食べる機能について

問19 あなたの食べる機能について、ア～ウのすべての質問にお答えください。
 （それぞれ1つに〇）

<図表176> 食べる機能について

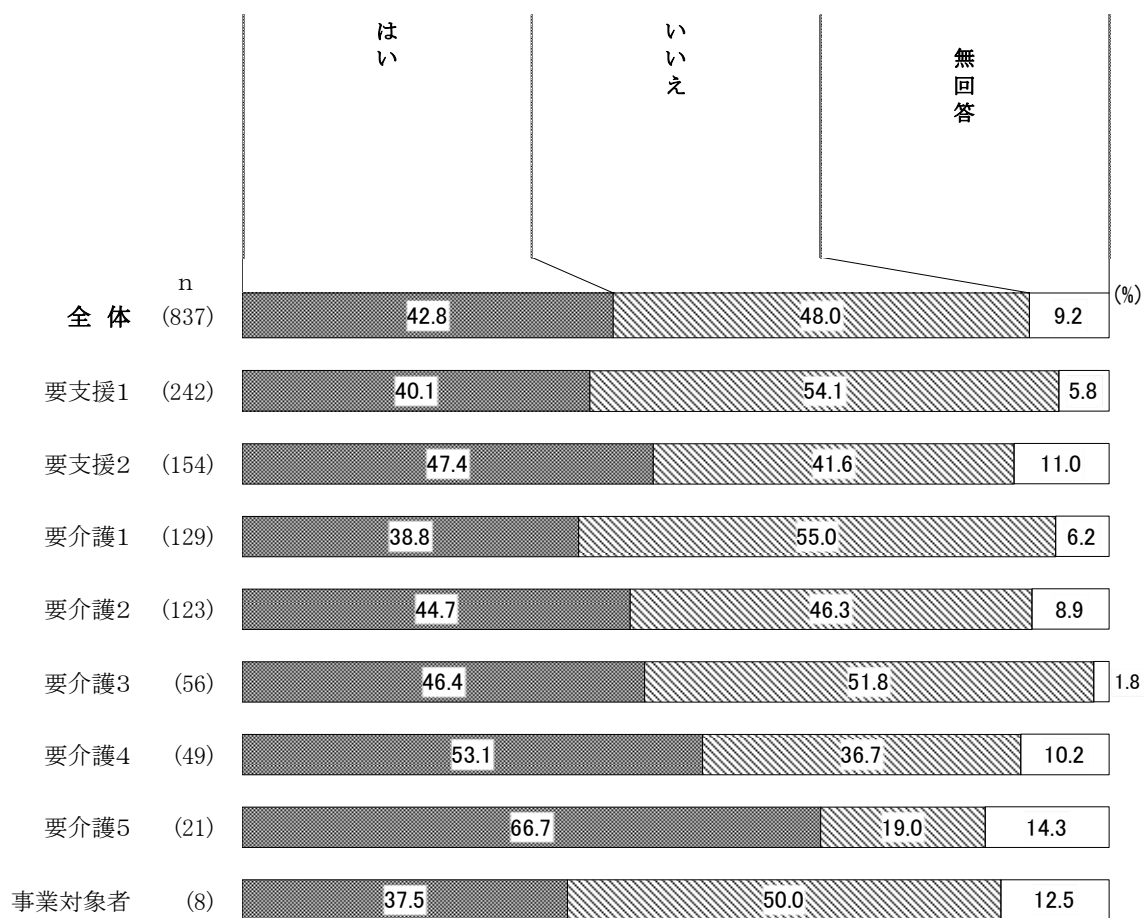


半年前と比べて硬いものの食べにくさの有無についてたずねたところ、「はい」(42.8%)が4割強となっている。

お茶や汁等でむせることの有無についてたずねたところ、「はい」(36.1%)が3割台半ばを超えている。

口の渇きの有無についてたずねたところ、「はい」(33.8%)が3割台半ば近くとなっている。

<図表177> 食べる機能 ア. 半年前に比べて硬いものが食べにくいかな【要介護度認定別（問13）】

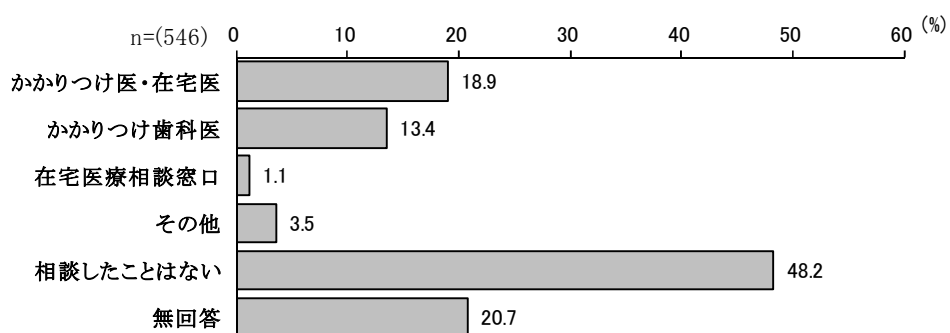


要支援・要介護度別にみると、要支援・要介護度が高くなるにつれて、半年前に比べて硬いものが食べにくいと回答する割合が高くなる傾向がある。

②摂食嚥下についての相談先

問19-1 <<問19のア～ウのいずれかまたはすべてで「はい」を選んだ方のみお答えください>>
 摂食嚥下についてどこかに相談したことはありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

<図表178> 摂食嚥下についての相談先 (複数回答)



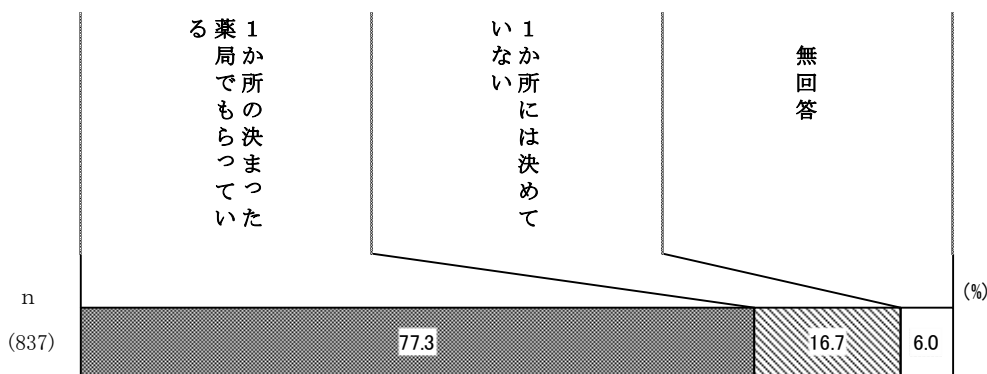
問19のいずれかまたはすべてで「はい」を選んだ人に摂食嚥下についての相談先をたずねたところ、「相談したことはない」(48.2%)が5割近くで最も高かった。「かかりつけ医、在宅医」は18.9%、「かかりつけ歯科医」は13.4%となっている。

(8) 薬局について

①薬をもらう薬局の特定

問20 あなたは、病院・診療所から処方された薬をもらう薬局を1か所に決めていますか。
(1つに○)

<図表179> 薬をもらう薬局を1か所に決めているか

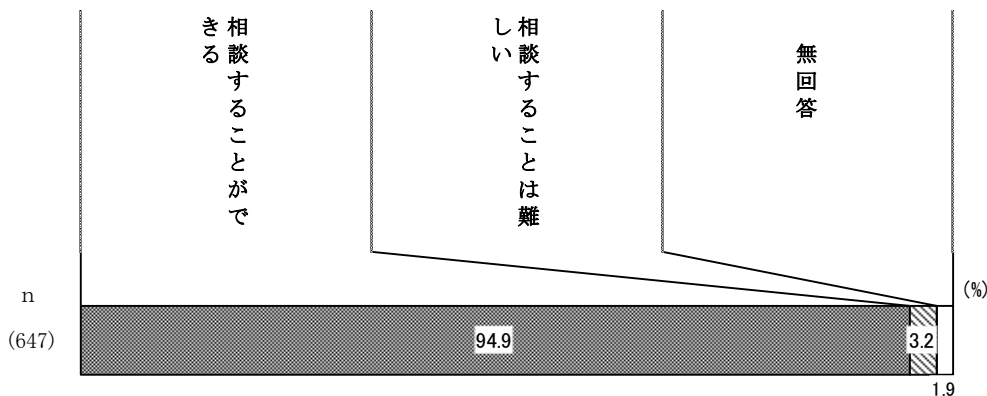


薬をもらう薬局を1か所に決めているかについてたずねたところ、「1か所の決まった薬局でもらっている」(77.3%)が7割台半ばを超え、「1か所には決めていない」(16.7%)が1割台半ばを超えている。

②薬の説明を聞いたり、相談をすることの可能性

問20-1 <<問20で「1か所の決まった薬局でもらっている」を選んだ方のみお答えください>>
その薬局では、薬の説明を聞いたり、相談したりすることができますか。
(1つに○)

<図表180> 薬局で薬の説明を聞いたり、相談をすることができるか

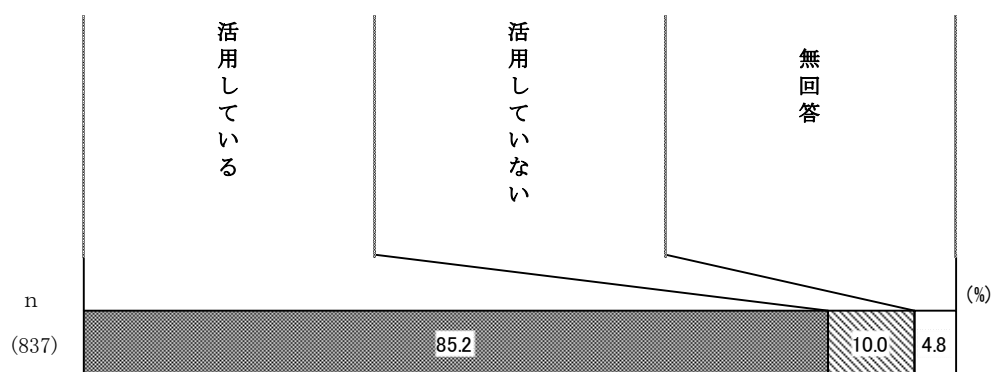


問20で「1か所の決まった薬局でもらっている」と回答した人に、薬局で薬の説明を聞いたり、相談することができるかについてたずねたところ、「相談することができる」(94.9%)が9割台半ば近くとなっている。

③お薬手帳の活用状況

問21 医師や薬剤師に見せることであなたの薬の情報が正しく伝わり、治療方針を検討する役に立てることができる「お薬手帳」を活用していますか。(1つに○)

<図表181> お薬手帳の活用状況



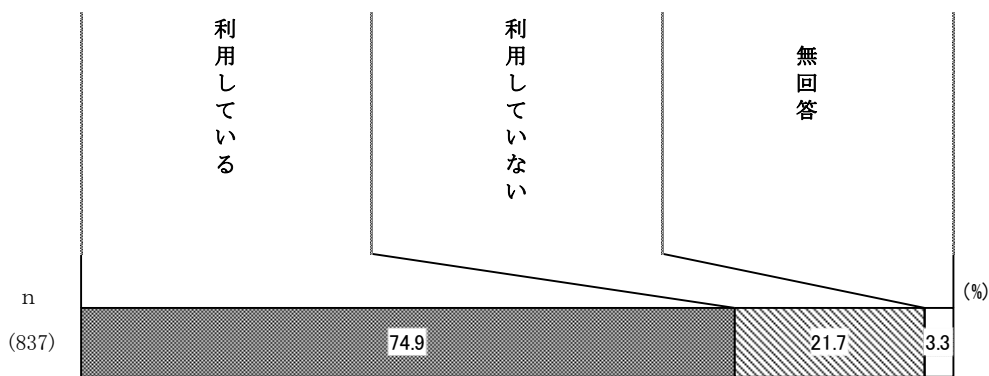
お薬手帳の活用状況についてたずねたところ、「活用している」(85.2%)は8割台半ば、「活用していない」(10.0%)は1割となっている。

(9) 介護保険サービスの利用状況と利用意向

①介護保険サービスの利用状況

問22 あなたは、現在介護保険サービスを利用していますか。(1つに○)

<図表182> 介護保険サービスの利用状況

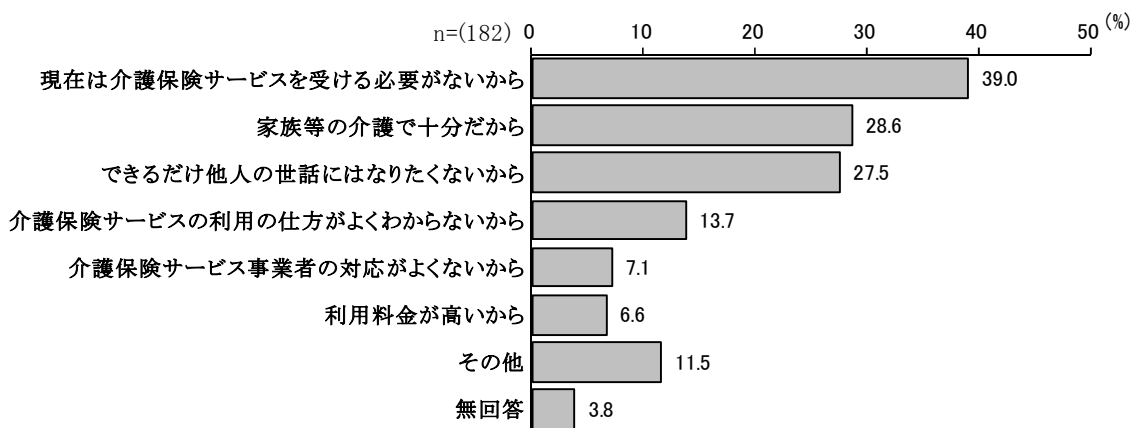


介護保険サービスの利用状況についてたずねたところ、「利用している」(74.9%)は7割台半ば近くとなっている。

②介護保険サービスを利用していない理由

問22-1 <<問22で「利用していない」を選んだ方のみお答えください>>
 介護保険サービスを利用していない理由は、次のうちどれですか。
 (あてはまるものすべてに○)

<図表183> 介護保険サービスを利用していない理由 (複数回答)

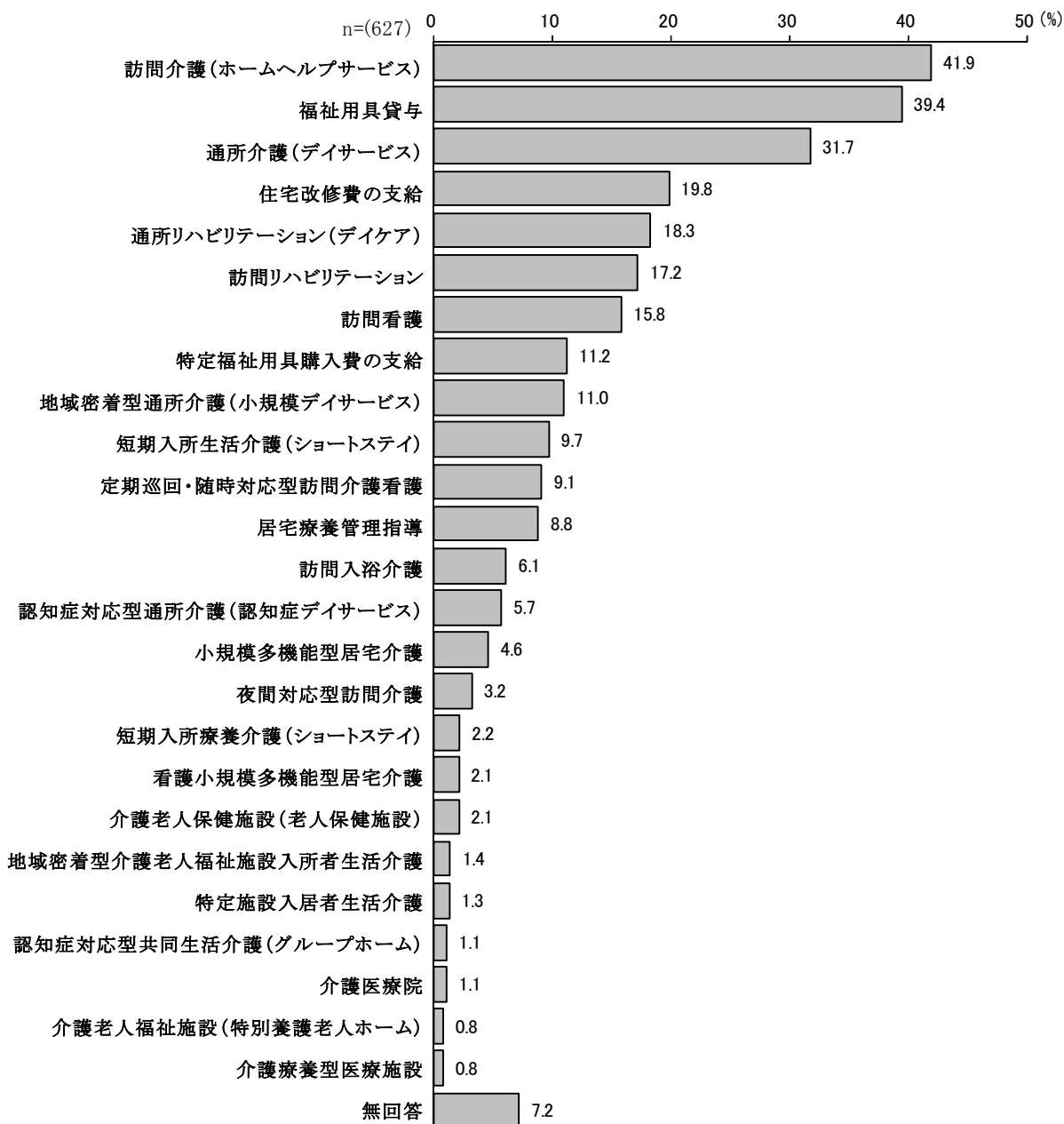


問22で介護保険サービスを「利用していない」と回答した人にその理由についてたずねたところ、「現在介護保険サービスを受ける必要がないから」(39.0%)が4割弱で最も高く、次いで、「家族等の介護で十分だから」(28.6%)、「できるだけ他人の世話にはなりたくないから」(27.5%)の順となっている。「その他」では、入院しているため、自分でできる間は自力でやりたい、といった内容があげられた。

③利用している介護保険サービスと満足度

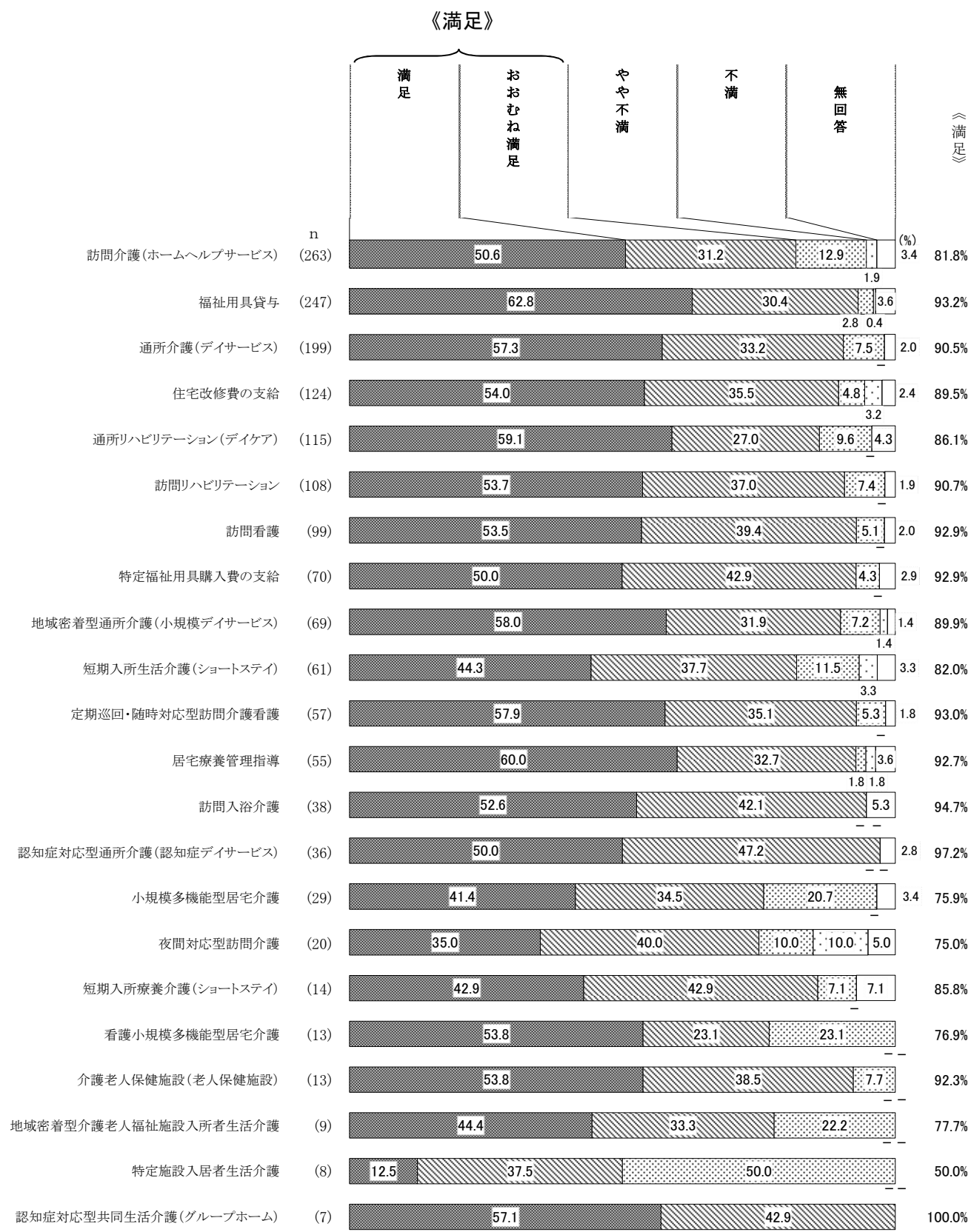
問22-2 ≪問22で「利用している」を選んだ方のみお答えください≫
 現在ご利用の介護保険サービスと利用満足度についておたずねします。

<図表184> 利用している介護保険サービス（複数回答）

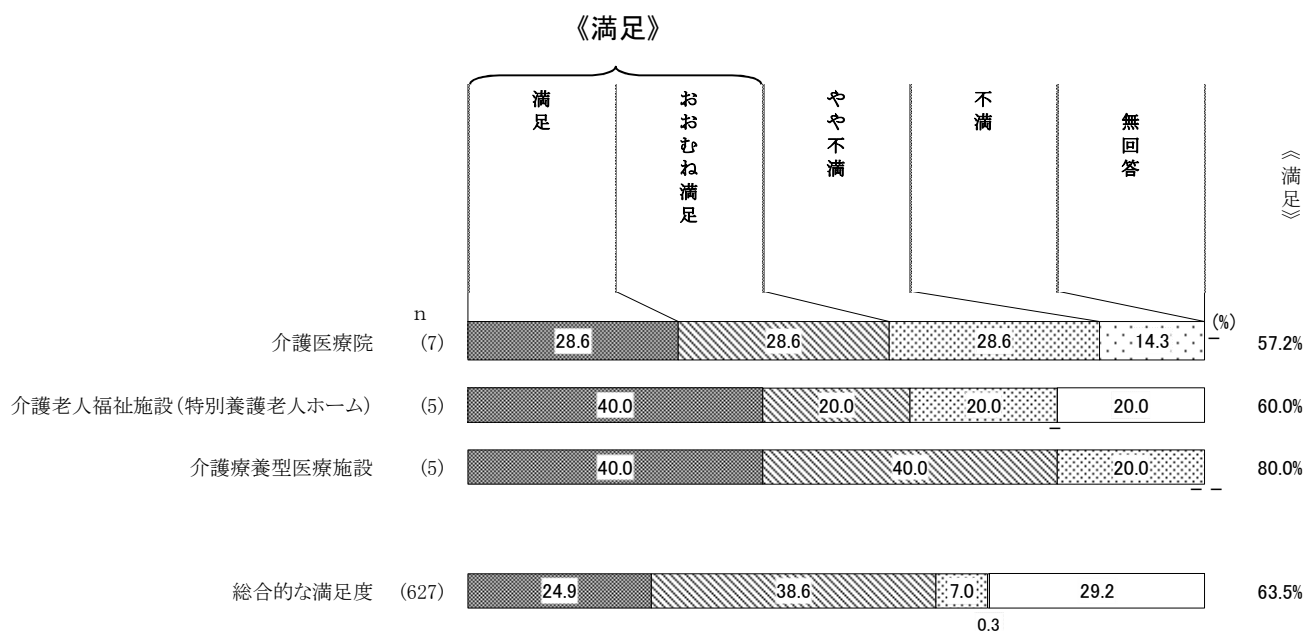


問22で介護保険サービスを「利用している」と回答した人に利用しているサービスについてたずねたところ、「訪問介護(ホームヘルプサービス)」(41.9%)が4割強で最も高く、次いで、「福祉用具貸与」(39.4%)、「通所介護(デイサービス)」(31.7%)の順となっている。

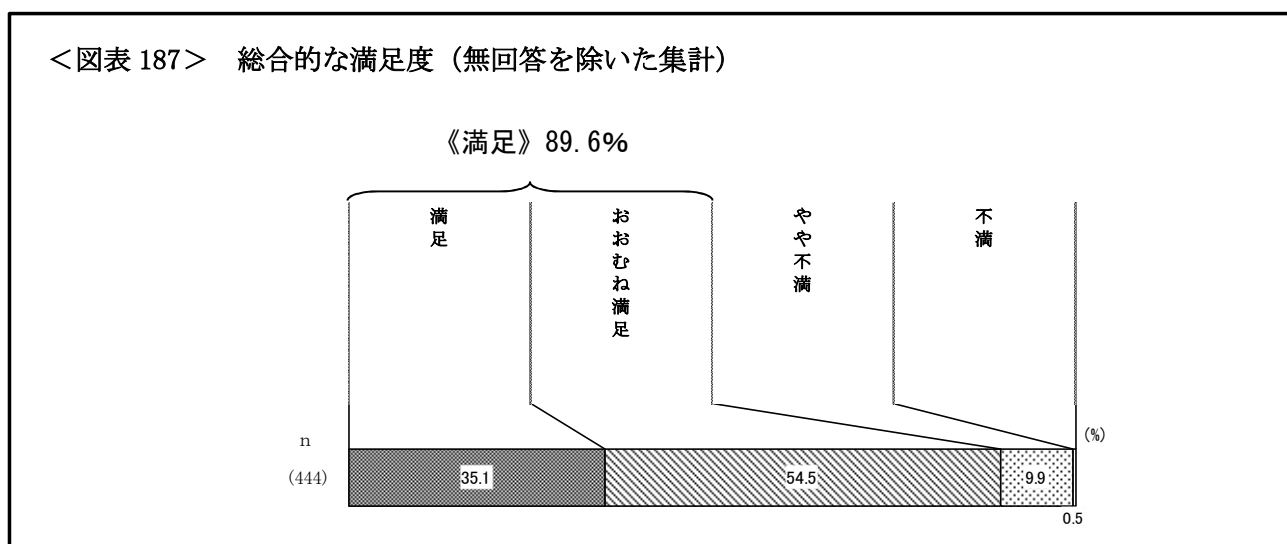
<図表185> 利用している介護保険サービスの満足度



<図表 186> 利用している介護保険サービスの満足度（前ページの続き）



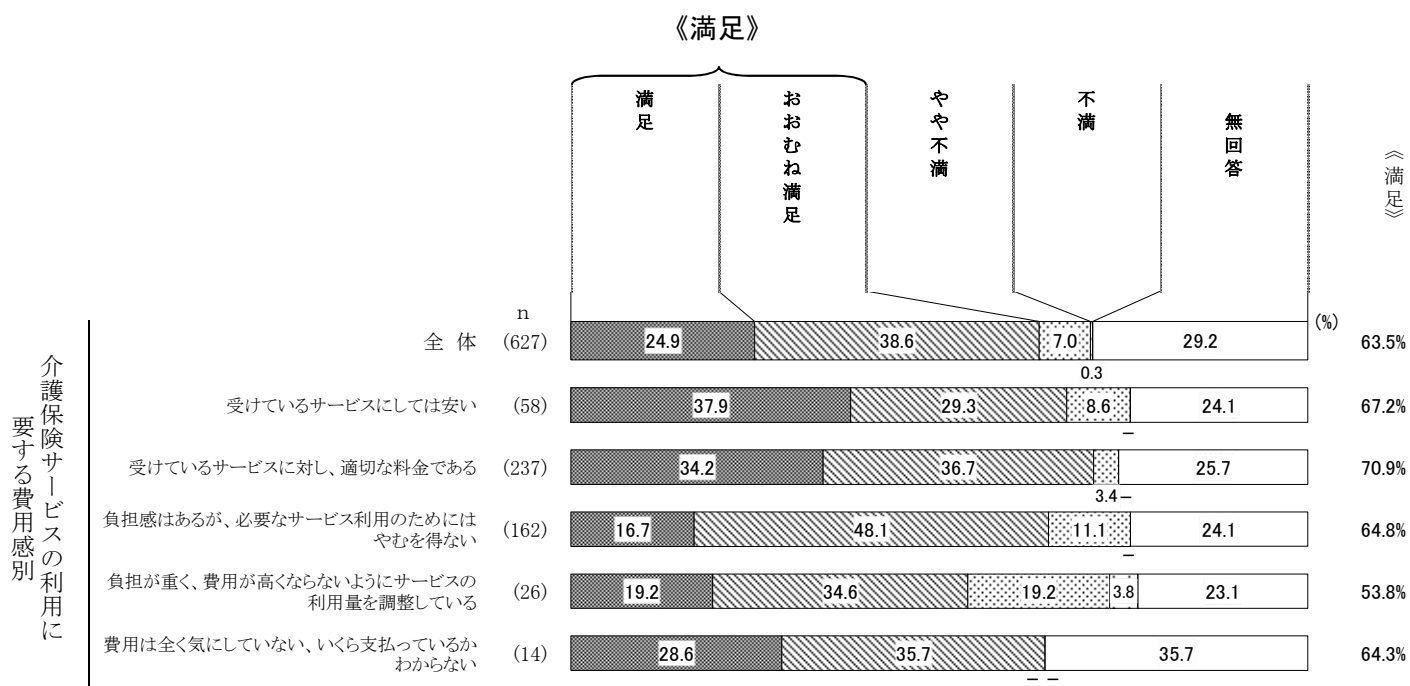
<図表 187> 総合的な満足度（無回答を除いた集計）



現在利用しているサービスの満足度についてたずねたところ、「満足」と「おおむね満足」をあわせた《満足》は、回答件数が10件以上のサービスでは、「認知症対応型通所介護（認知症デイサービス）」（97.2%）が9割台半ばを超えて最も高く、次いで、「訪問入浴介護」（94.7%）、「福祉用具貸与」（93.2%）の順となっている。

また、総合的な満足度についてたずねたところ、無回答を除いた場合、「満足」と「おおむね満足」をあわせた《満足》は89.6%となっている。

＜図表188＞ 利用している介護保険サービスの総合的な満足度【介護保険サービスの利用に要する費用感別（問22-3）】



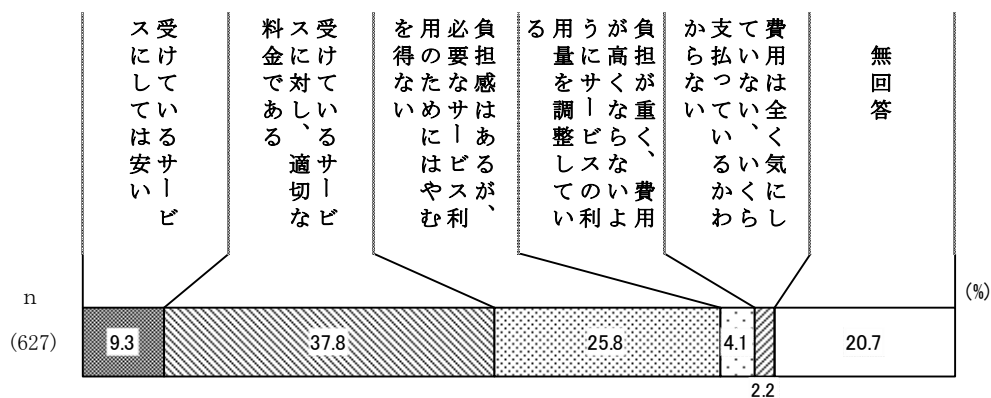
介護保険サービスの利用に要する費用感別にみると、「受けているサービスに対し、適切な料金である」と回答した人のうち、約7割の人が《満足》(70.9%)と回答している。

④介護保険サービスの利用に要する費用について

問22-3 《問22で「利用している」を選んだ方のみお答えください》

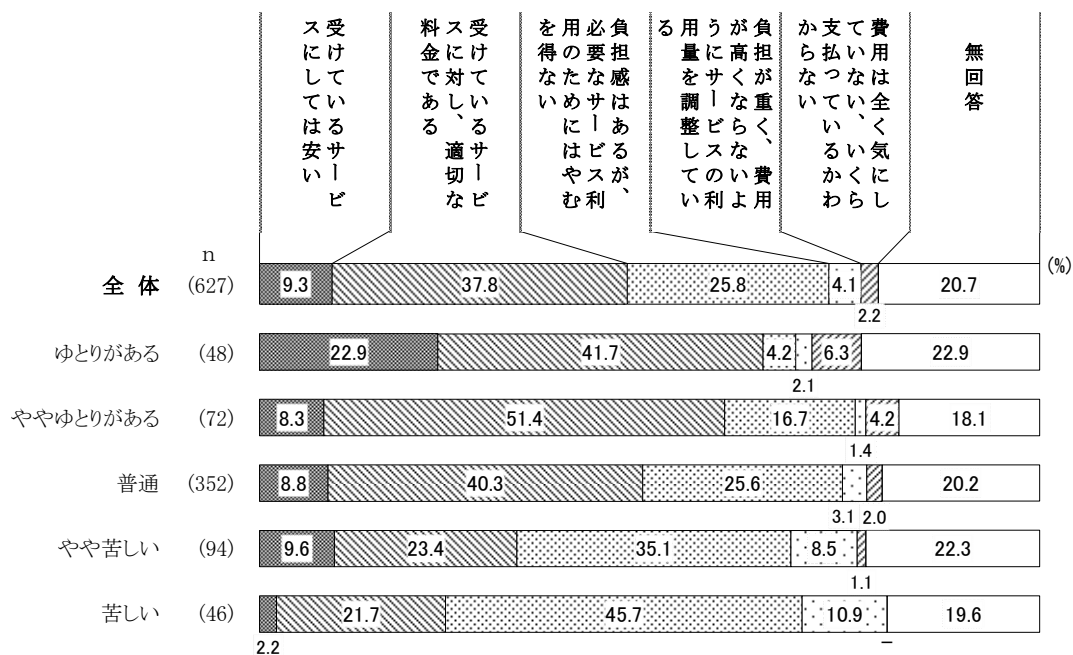
介護保険サービスの利用に要する費用（1割～3割の利用者負担）について、どのように感じですか。（1つに○）

<図表189> 介護保険サービスの利用に要する費用について



介護保険サービスの利用に要する費用についてたずねたところ、「受けているサービスに対し、適切な料金である」(37.8%)が3割台半ばを超えて最も高く、次いで、「負担感はあるが、必要なサービス利用のためにはやむを得ない」(25.8%)、「受けているサービスにしては安い」(9.3%)の順となっている。

<図表190> 介護保険サービスの利用に要する費用感【暮らし向き別（問7）】

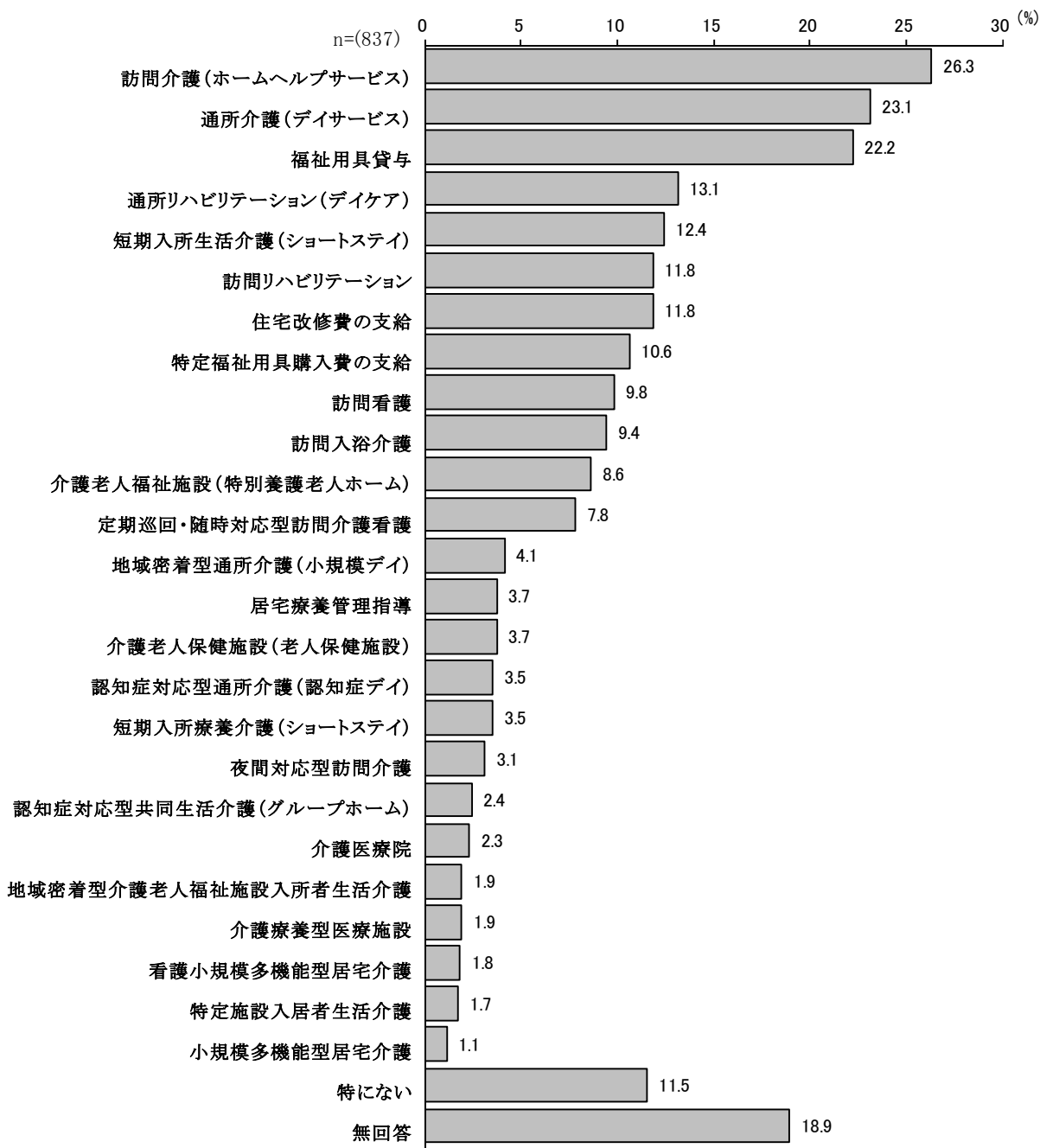


暮らし向き別にみると、暮らしにゆとりがあると感じている人ほど「受けているサービスにしては安い」「受けているサービスに対し、適切な料金である」の割合が高い傾向がある。

⑤新たに利用してみたい(続けたい)介護保険サービス

問23 介護保険サービスで、あなたが今後新たに利用してみたい(または続けたい)ものは、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

<図表191> 新たに利用してみたい(続けたい)介護保険サービス (複数回答)

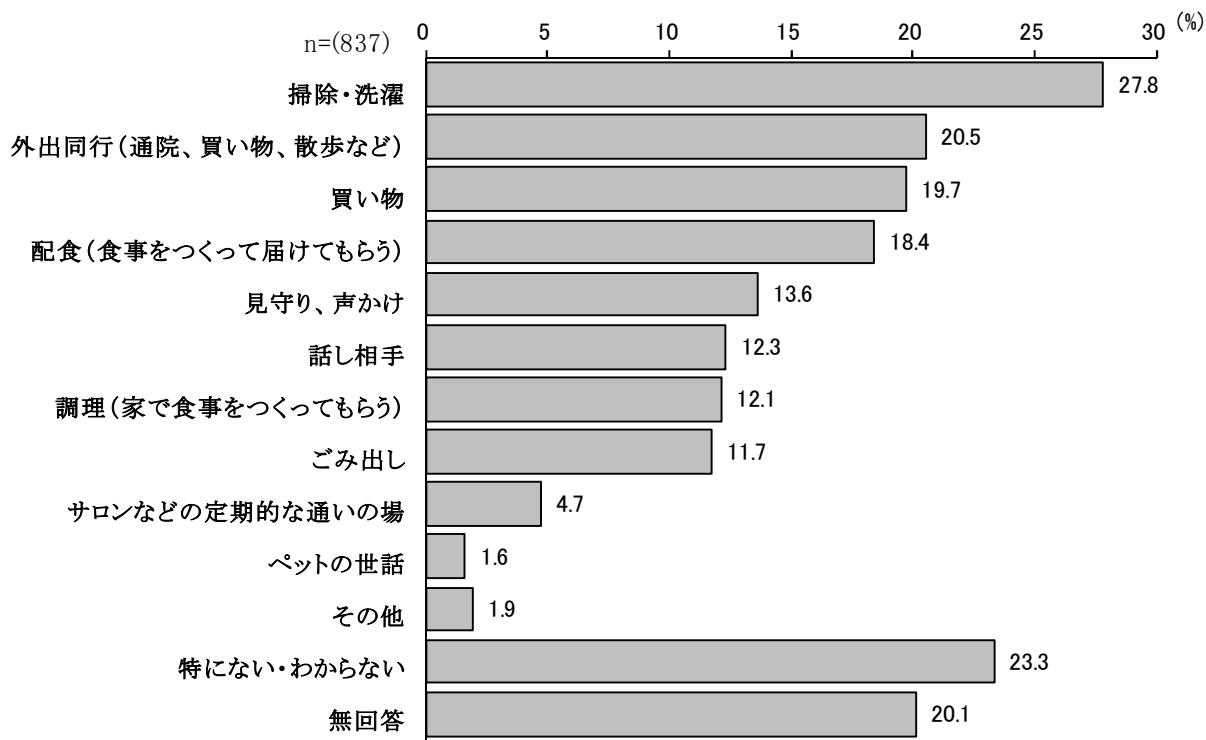


新たに利用してみたい(続けたい)介護保険サービスについてたずねたところ、「訪問介護(ホームヘルプサービス)」(26.3%)が2割台半ばを超えて最も高く、次いで、「通所介護(デイサービス)」(23.1%)、「福祉用具貸与」(22.2%)の順となっている。

⑥在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

問24 あなたが、在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じるものも含む)はありますか。(あてはまるものすべてに○)

<図表192> 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス (複数回答)

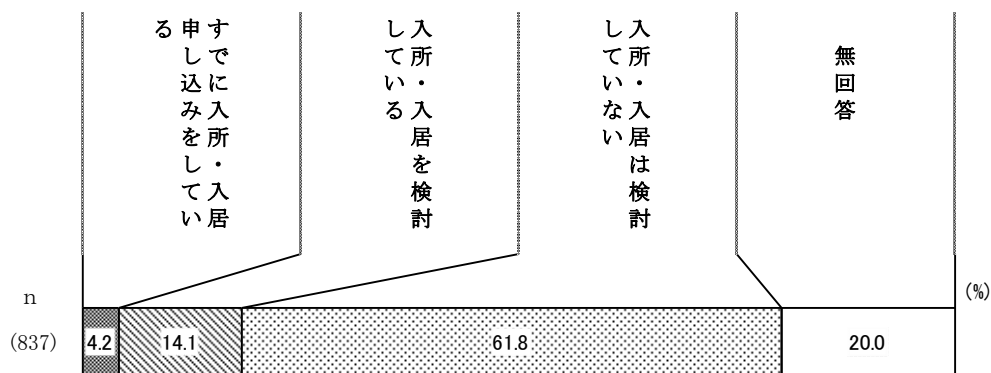


在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについてたずねたところ、「掃除・洗濯」(27.8%)が2割台半ばを超えて最も高く、次いで、「外出同行(通院、買い物、散歩など)」(20.5%)、「買い物」(19.7%)の順となっている。

⑦施設等への入所・入居についての考え

問25 現時点で施設等への入所・入居について、あなたのお考えに最も近いものは、次のうちどれですか。(1つに〇)

<図表193> 施設等への入所・入居についての考え

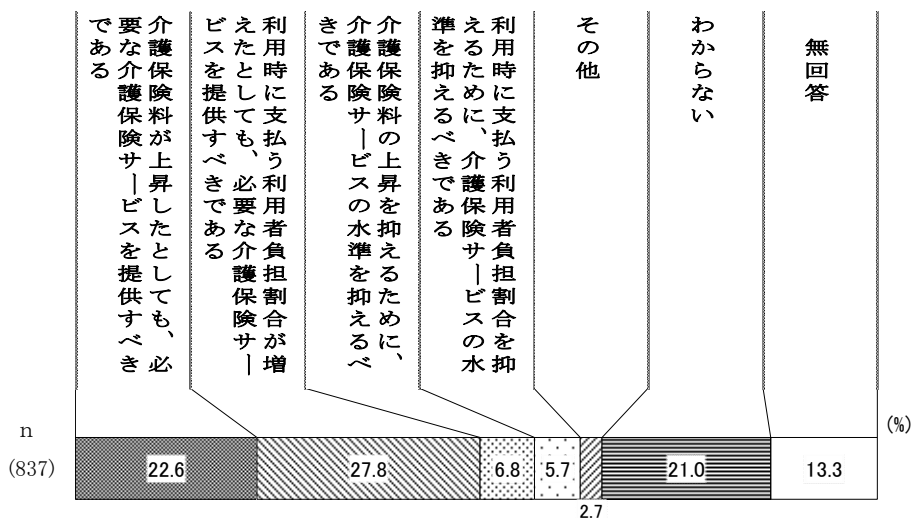


施設等への入所・入居についての考えをたずねたところ、「入所・入居は検討していない」(61.8%)が6割強と最も高く、次いで、「入所・入居を検討している」(14.1%)、「すでに入所・入居申し込みをしている」(4.2%)の順となっている。

⑧介護保険のサービスと費用負担

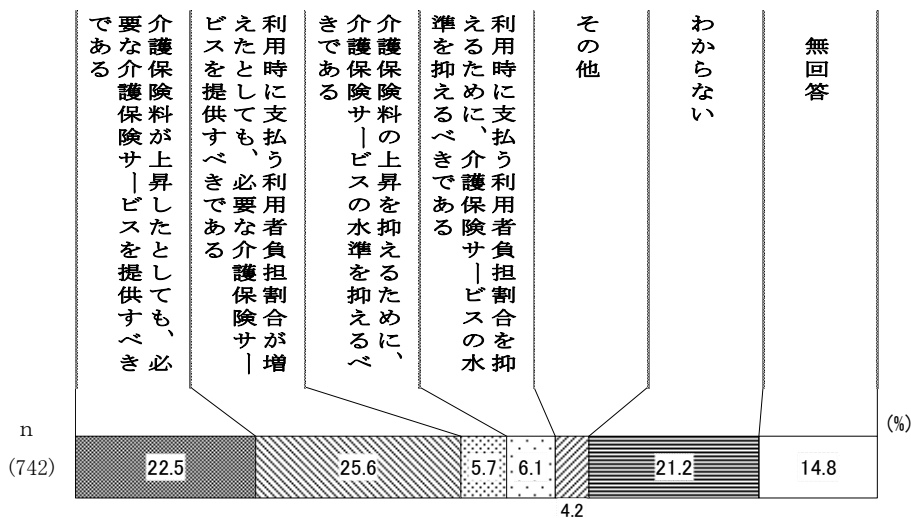
問26 今後、高齢者の増加に伴い、サービスにかかる費用も増大することが予想されます。介護保険のサービスと費用負担について、あなたのお考えに最も近いものは、次のうちどれですか。(1つに○)

<図表194> 介護保険のサービスと費用負担

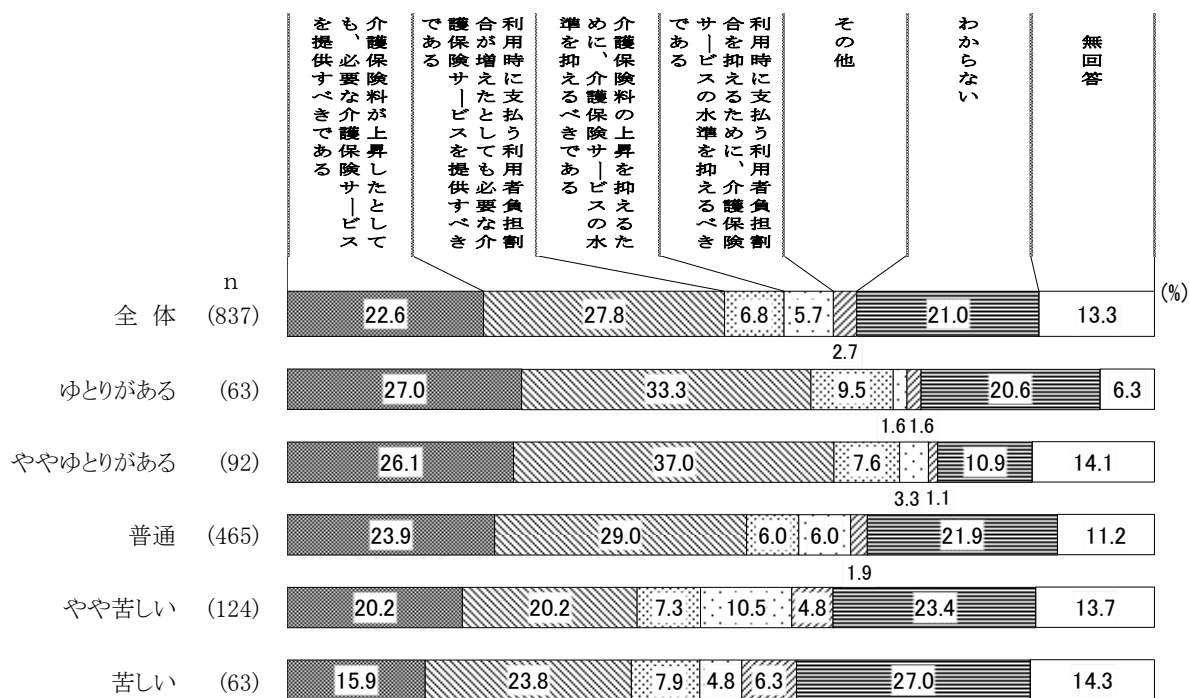


介護保険のサービスと費用負担についてたずねたところ、「利用時に支払う利用者負担割合が増えたとしても、必要な介護保険サービスを提供すべきである」(27.8%)が2割台半ばを超えて最も高く、次いで、「介護保険料が上昇したとしても、必要な介護保険サービスを提供すべきである」(22.6%)、「わからない」(21.0%)の順となっている。

【参考】<図表195> 介護保険のサービスと費用負担(平成28年度調査)



<図表196> 介護保険サービスの費用負担感【暮らし向き別（問7）】



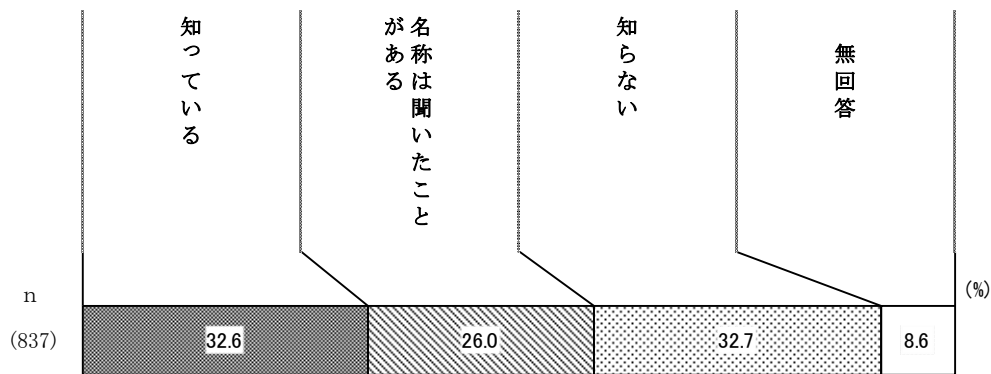
暮らし向き別にみると、暮らしにゆとりがあると感じている人ほど「介護保険料が上昇したとしても、必要な介護保険サービスを提供すべきである」の割合が高くなっている。

(10) 緩和ケアについて

① 「緩和ケア」の認知度

問27 あなたは、「緩和ケア」について、ご存じですか。(1つに○)

<図表197> 「緩和ケア」の認知度

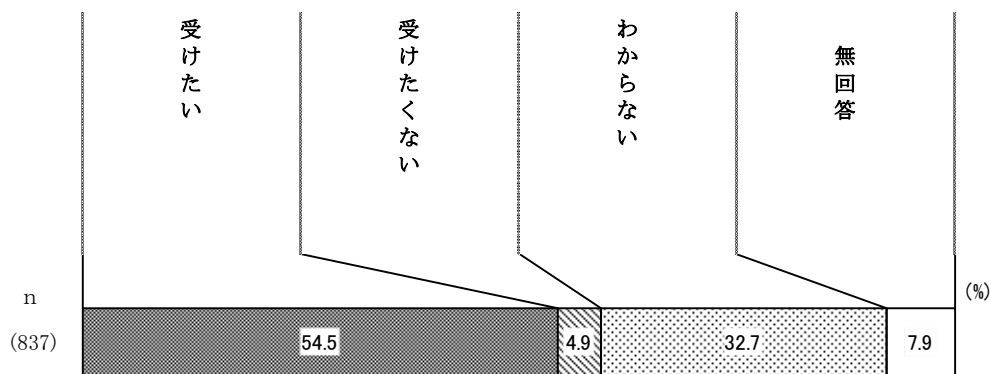


「緩和ケア」の認知度についてたずねたところ、「知っている」(32.6%)は3割強、「名称は聞いたことがある」(26.0%)は2割台半ばを超えている。

② 治療と併せた早期からの「緩和ケア」の意向

問28 あなたは、重い病と診断された場合、治療と併せて、早期から痛みやつらさの緩和を主とした「緩和ケア」を受けたいですか。(1つに○)

<図表 198> 治療と併せた早期からの「緩和ケア」の意向

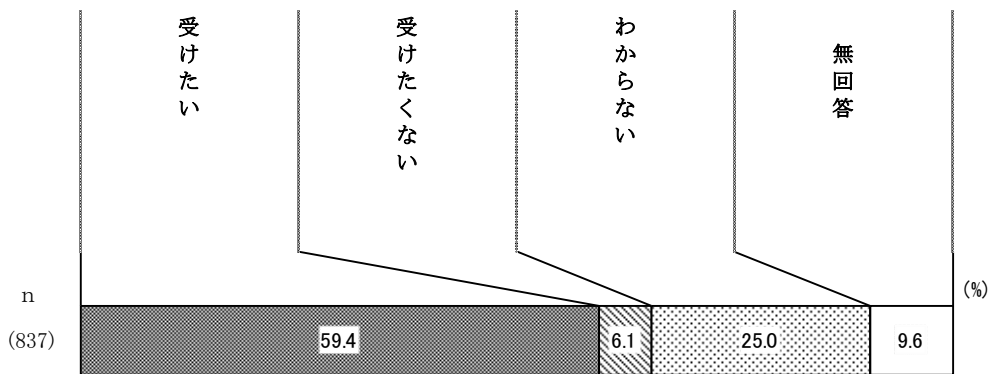


早期からの「緩和ケア」の意向についてたずねたところ、「受けたい」(54.5%)は5割台半ば近くとなっている。

③回復が期待できない場合の「緩和ケア」の意向

問29 あなたは、重い病で、回復が期待できない場合、痛みやつらさの緩和を主とした「緩和ケア」を受けたいですか。(1つに○)

<図表 199> 回復が期待できない場合の「緩和ケア」の意向



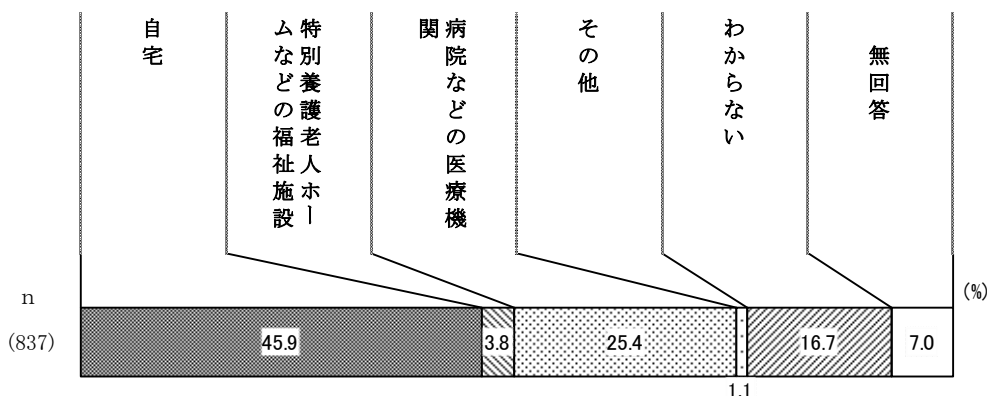
回復が期待できない場合の「緩和ケア」の意向についてたずねたところ、「受けたい」(59.4%)は6割弱となっている。

(11) 人生の最終段階における医療について

① 最期を迎えたい場所

問30 あなたは、ご自身の最期をどこで迎えたいと思いますか。(1つに○)

<図表200> 最期を迎えたい場所

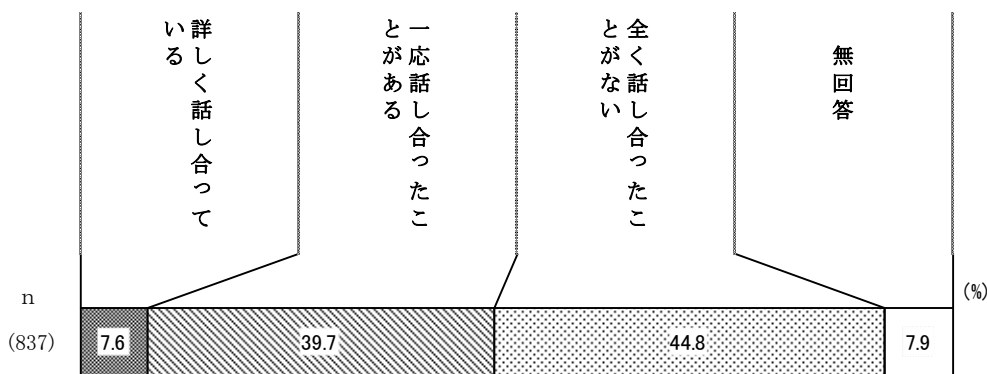


最期を迎えたい場所についてたずねたところ、「自宅」(45.9%)が4割台半ばで最も高く、次いで、「病院などの医療機関」(25.4%)の順となっている。

② ご家族と話し合った経験

問31 あなたは、人生の最終段階において受たい医療や受けたくない医療について、ご家族とどのくらい話し合ったことがありますか。(1つに○)

<図表201> ご家族と話し合った経験

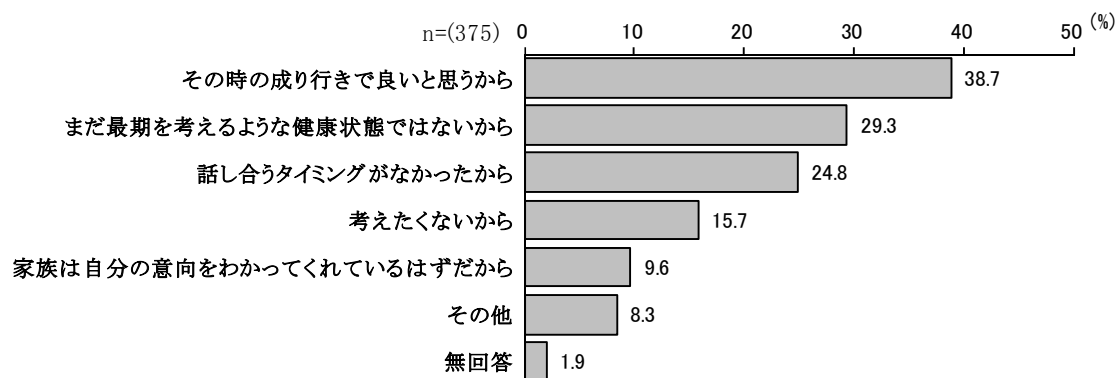


人生の最終段階において受たい医療や受けたくない医療について、ご家族と話し合った経験をたずねたところ、「全く話し合ったことがない」(44.8%)が4割台半ば近くで最も高く、次いで、「一応話し合ったことがある」(39.7%)となっている。

③全く話し合ったことがない理由

問31-1 《問31で「全く話し合ったことがない」を選んだ方のみお答えください》
それはどうしてですか。(あてはまるものすべてに○)

<図表202> 全く話し合ったことがない理由 (複数回答)

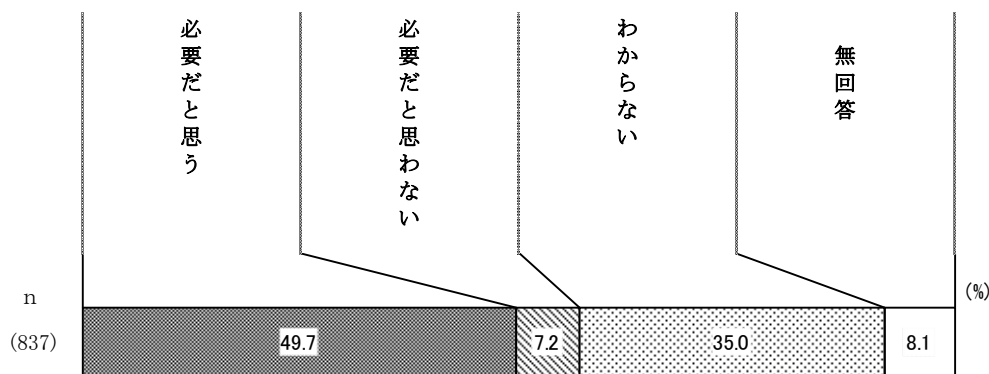


問31で「全く話し合ったことがない」と回答した人にその理由についてたずねたところ、「その時の成り行きで良いと思うから」(38.7%)が4割近くで最も高く、次いで、「まだ最期を考えるような健康状態ではないから」(29.3%)、「話し合うタイミングがなかったから」(24.8%)の順となっている。

④エンディングノートなどの作成

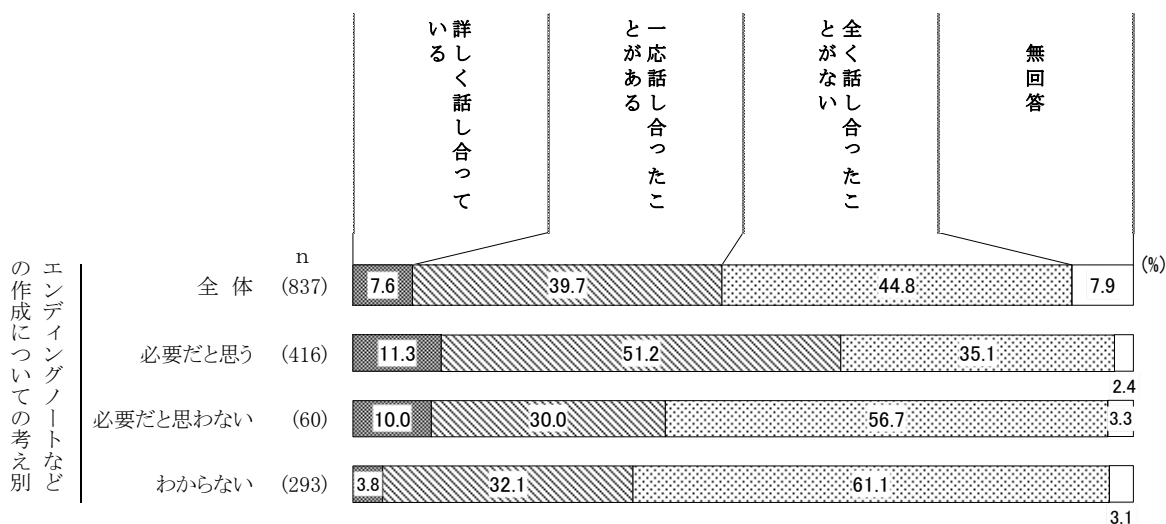
問32 あなたは、自分で判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面（エンディングノートなど）をあらかじめ作成しておくことについて、どう思いますか。（1つに○）

<図表203> エンディングノートなどの作成



エンディングノートなどの作成についてたずねたところ、「必要だと思う」（49.7%）が5割弱となっている。

<図表204> 人生の最終段階における医療についてご家族と話し合った経験
【エンディングノートなどの作成についての考え別（問31）】



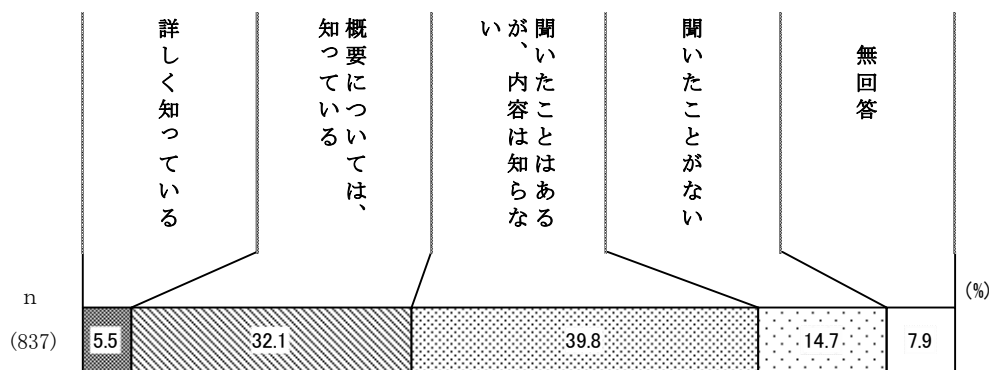
人生の最終段階における医療についてご家族と話し合った経験と、エンディングノートなどの作成についての考え別にみると、「必要だと思う」人のうち「全く話し合ったことがない」（35.1%）が3割台半ばとなっている。

(12) 権利擁護について

① 成年後見制度の認知度

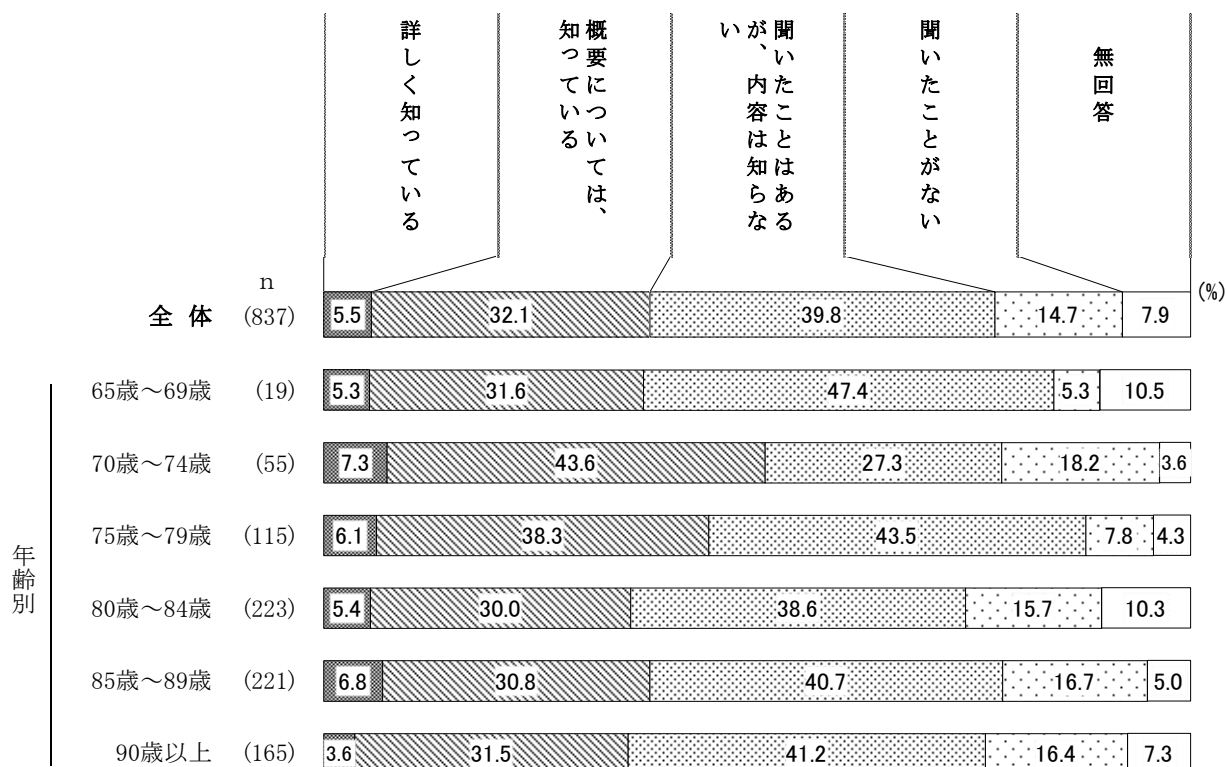
問33 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(1つに○)

<図表205> 成年後見制度の認知度



成年後見制度の認知度についてたずねたところ、「聞いたことはあるが、内容は知らない」(39.8%)が4割弱で最も高く、次いで、「概要については、知っている」(32.1%)、「聞いたことがない」(14.7%)の順となっている。

<図表206> 成年後見制度の認知度【年齢別】

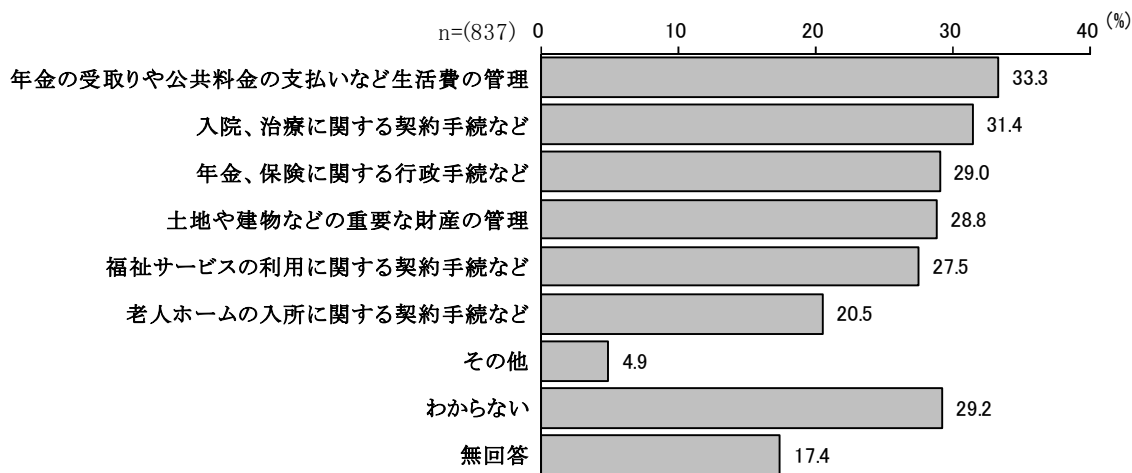


年齢別にみると、70代で成年後見制度の認知度が高くなっている。

②成年後見制度に期待する役割

問34 あなたが成年後見制度に期待する役割は何ですか。すでに利用している方もお答えください。(あてはまるものすべてに○)

<図表207> 成年後見制度に期待する役割 (複数回答)

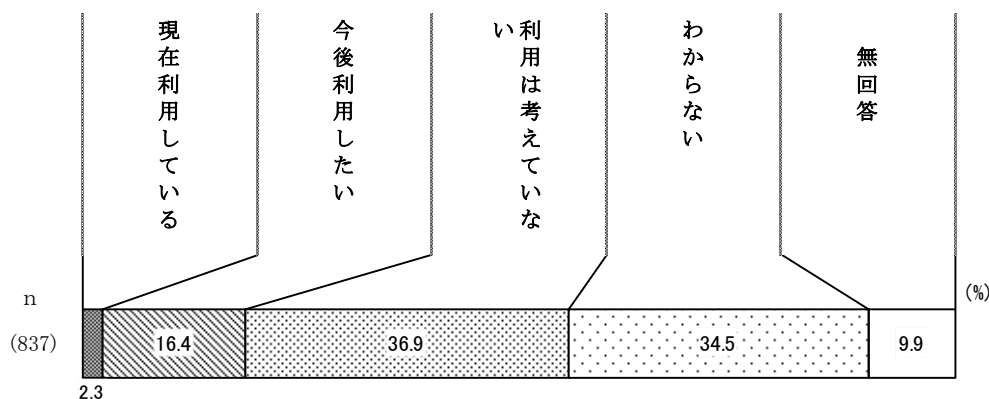


成年後見制度に期待する役割についてたずねたところ、「年金の受取りや公共料金の支払いなど生活費の管理」(33.3%)が3割台半ば近くと最も高く、次いで、「入院、治療に関する契約手続など」(31.4%)、「年金、保険に関する行政手続など」(29.0%)の順となっている。

③成年後見制度の利用意向

問35 あなたは、あなた自身が認知症等により判断能力が十分でなくなったとき、成年後見制度を利用したいと思いますか。(1つに○)

<図表208> 成年後見制度の利用意向

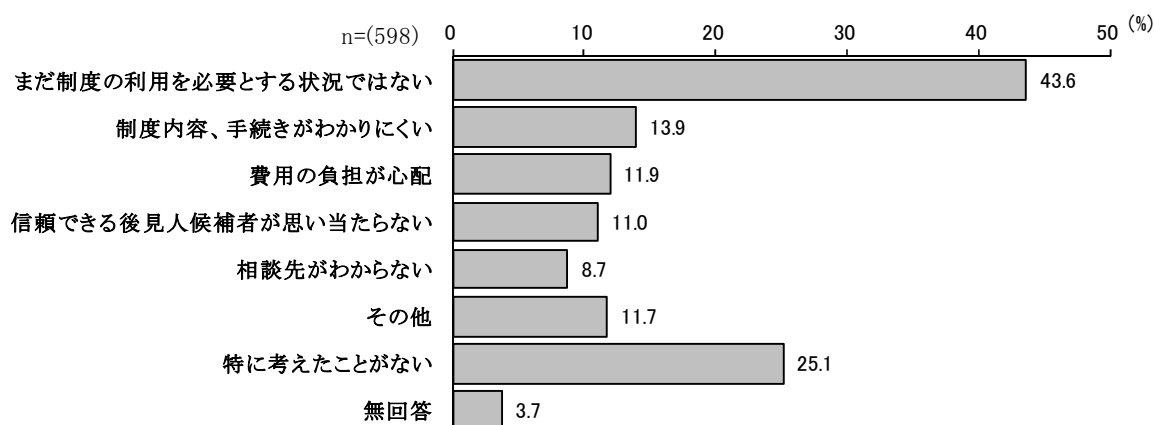


成年後見制度の利用意向についてたずねたところ、「利用は考えていない」(36.9%)が3割台半ばを超えて最も高く、次いで、「わからない」(34.5%)、「今後利用したい」(16.4%)の順となっている。

④成年後見制度を利用しない理由

問35-1 <<問35で「利用は考えていない」または「わからない」を選んだ方のみお答えください>> あなた自身が、成年後見制度を利用しない理由として、どのようなものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

<図表209> 成年後見制度を利用しない理由(複数回答)

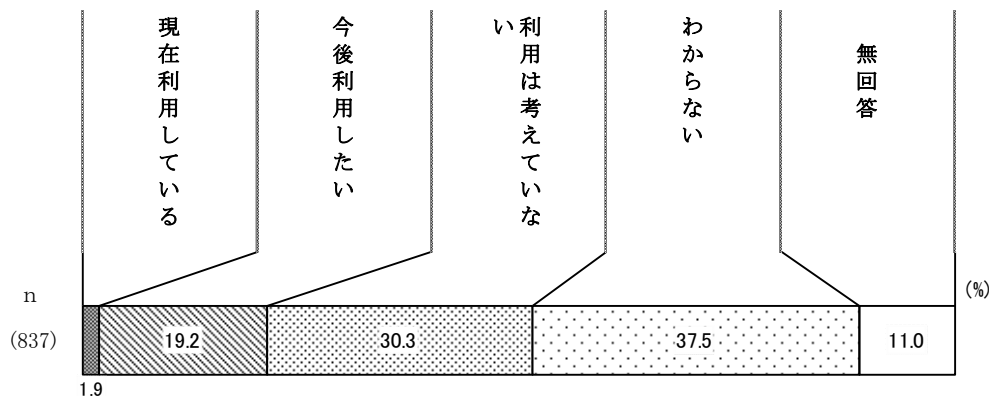


問35で成年後見制度の「利用は考えていない」「わからない」と回答した人にその理由についてたずねたところ、「まだ制度の利用を必要とする状況ではない」(43.6%)が4割台半ば近くで最も高く、次いで、「特に考えたことがない」(25.1%)、「制度内容、手続きがわかりにくい」(13.9%)の順となっている。

⑤家族・親族の成年後見制度の利用意向

問36 あなたは、家族・親族が認知症等により判断能力が十分でなくなったとき、成年後見制度を利用したいと思いますか。(1つに○)

<図表210> 家族・親族の成年後見制度の利用意向

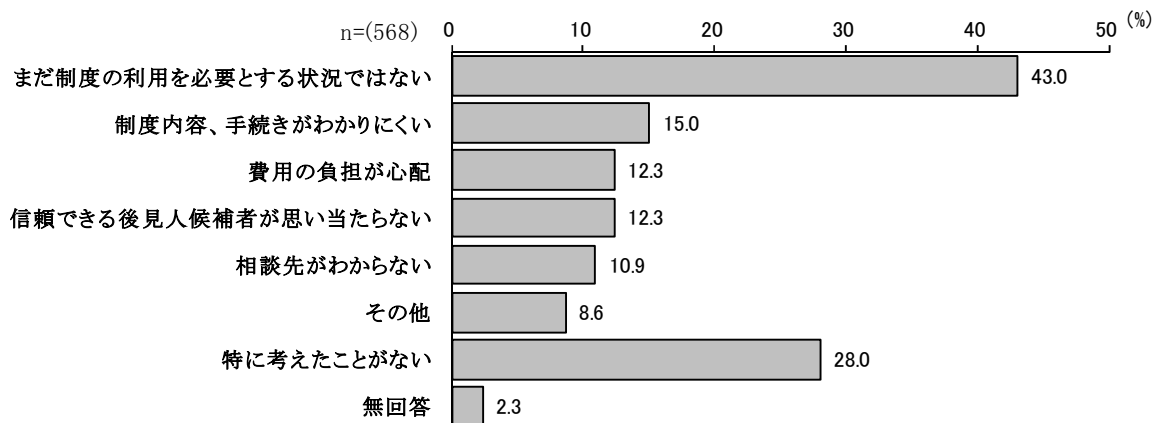


家族・親族の成年後見制度の利用意向についてたずねたところ、「わからない」(37.5%)が3割台半ばを超えて最も高く、次いで、「利用は考えていない」(30.3%)、「今後利用したい」(19.2%)の順となっている。

⑥家族・親族の成年後見制度を利用しない理由

問36-1 <<問36で「利用は考えていない」または「わからない」を選んだ方のみお答えください>> 家族・親族が、成年後見制度を利用しない理由として、どのようなものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

<図表211> 家族・親族の成年後見制度を利用しない理由 (複数回答)



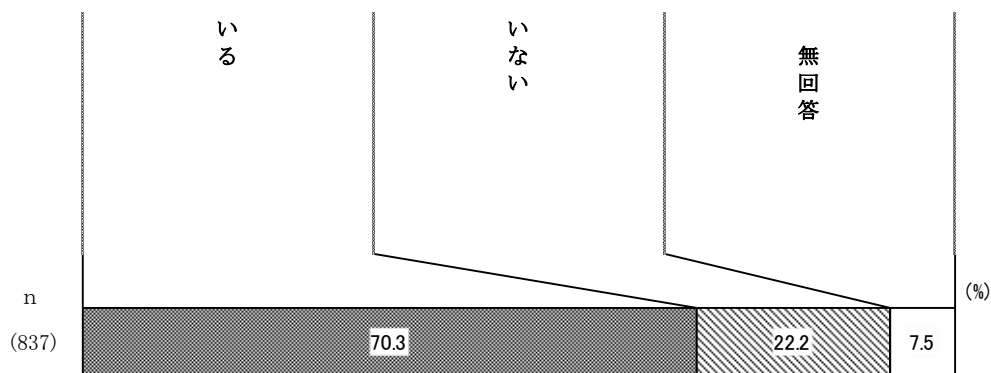
問36で成年後見制度の「利用は考えていない」「わからない」と回答した人にその理由についてたずねたところ、「まだ制度の利用を必要とする状況ではない」(43.0%)が4割台半ば近くで最も高く、次いで、「特に考えたことがない」(28.0%)、「制度内容、手続きがわかりにくい」(15.0%)の順となっている。

(13) 災害時の支援などについて

①災害時に同居者以外で頼りになる人の有無

問37 災害で困った時、同居者以外で頼りになる人がいますか。(1つに○)

<図表212> 災害時に同居者以外で頼りになる人の有無

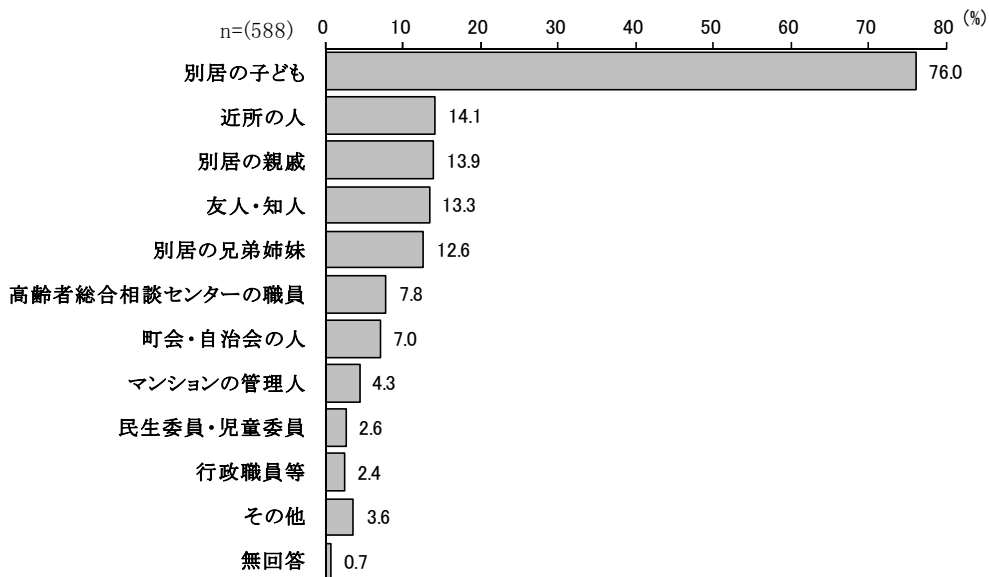


災害時に同居者以外で頼りになる人の有無についてたずねたところ、「いる」(70.3%)は約7割となっている。

②災害時に同居者以外で頼りになる人の続柄

問37-1 ≪問37で「いる」を選んだ方のみお答えください≫
それはどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

<図表213> 災害時に同居者以外で頼りになる人の続柄 (複数回答)

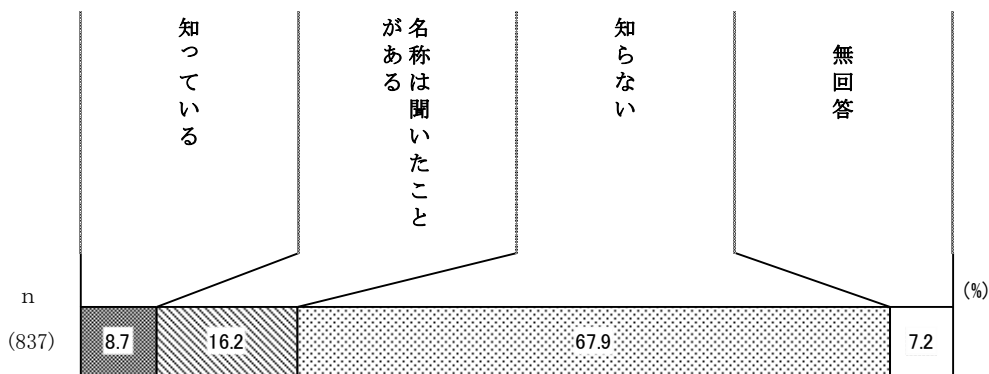


問37で災害時に同居者以外で頼りになる人が「いる」と回答した人に、その続柄についてたずねたところ、「別居の子ども」(76.0%)が7割台半ばを超え最も高く、次いで、「近所の人」(14.1%)、「別居の親戚」(13.9%)の順となっている。

③災害時要援護者名簿の認知度

問38 あなたは、災害時における安否確認などの支援を必要とする方が事前に登録する「災害時要援護者名簿」をご存知ですか。(1つに○)

<図表214> 災害時要援護者名簿の認知度



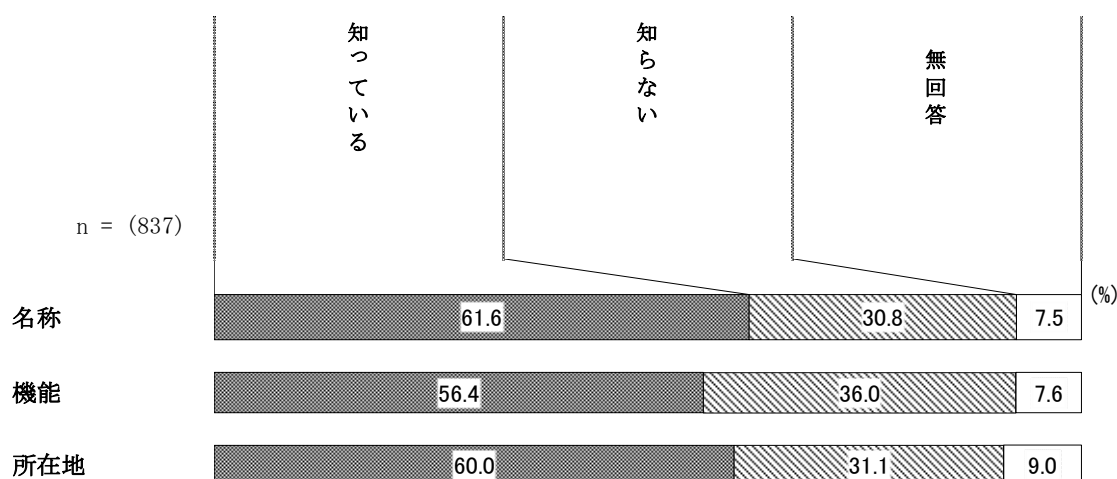
災害時要援護者名簿の認知度についてたずねたところ、「知らない」(67.9%)は6割台半ばを超えて最も高く、次いで、「名称は聞いたことがある」(16.2%)、「知っている」(8.7%)の順となっている。

(14) 健康・福祉サービスの情報や相談窓口について

①高齢者総合相談センターの名称・機能・所在地の認知度

問39 あなたは、「高齢者総合相談センター」の名称をご存じですか。(1つに○)
 問40 あなたは、「高齢者総合相談センター」が何をする機関かご存じですか。(1つに○)
 問41 あなたは、あなたのお住まいの地域を担当する「高齢者総合相談センター」がどこにあるかご存じですか。(1つに○)

<図表215> 高齢者総合相談センターの名称・機能・所在地の認知度



高齢者総合相談センターの名称の認知度についてたずねたところ、「知っている」(61.6%)は6割強となっている。

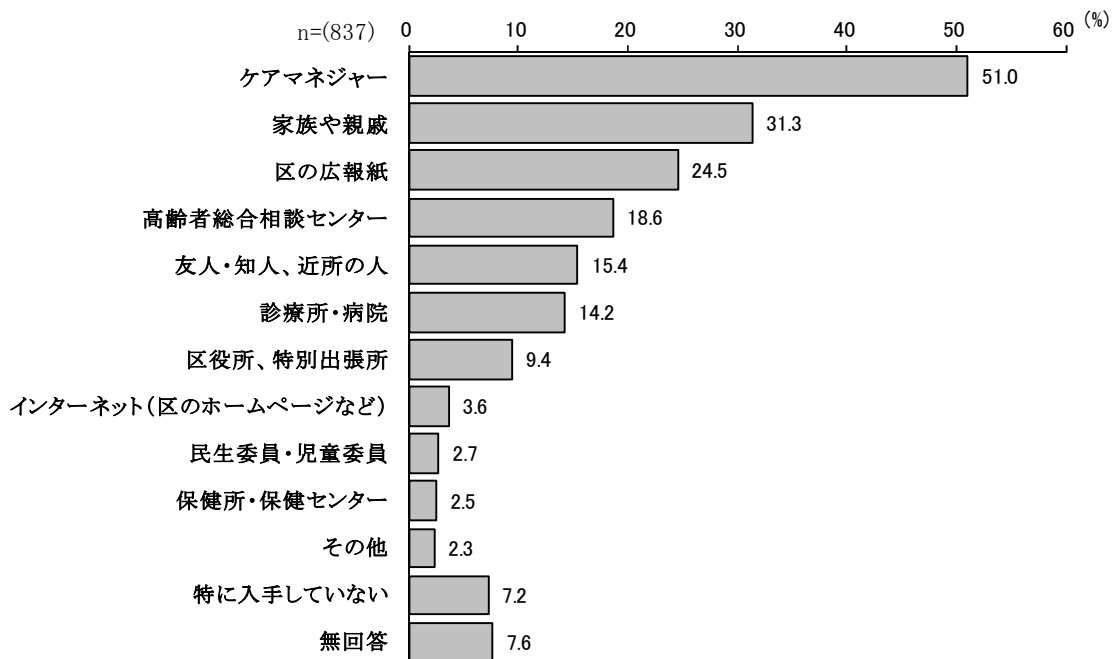
高齢者総合相談センターの機能の認知度についてたずねたところ、「知っている」(56.4%)は5割台半ばを超えている。

高齢者総合相談センターの所在地の認知度についてたずねたところ、「知っている」(60.0%)は6割となっている。

②健康や福祉サービスに関する情報の入手手段

問42 あなたは日ごろ、健康や福祉サービスに関する情報をどのような手段で入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

<図表216> 健康や福祉サービスに関する情報の入手手段 (複数回答)

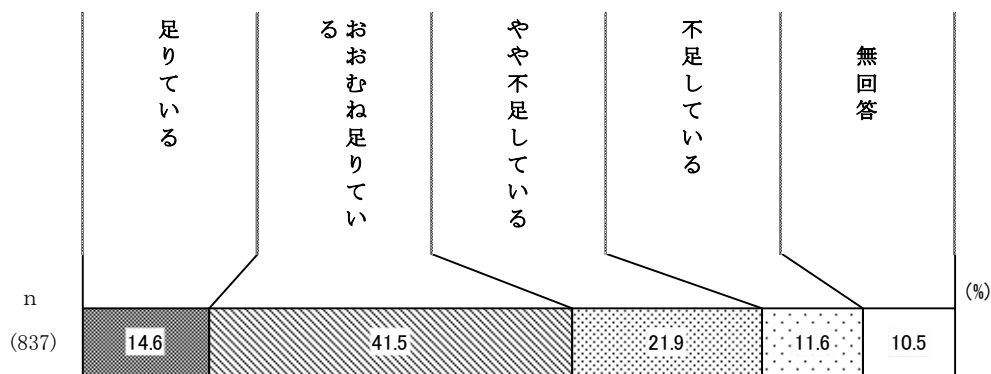


健康や福祉サービスに関する情報の入手手段についてたずねたところ、「ケアマネジャー」(51.0%)が5割強と最も高く、次いで、「家族や親戚」(31.3%)、「区の広報紙」(24.5%)の順となっている。

③健康や福祉サービスに関する情報量の充実度

問43 あなたの入手している健康や福祉サービスに関する情報量は足りていると思いますか。
(1つに○)

<図表217> 健康や福祉サービスに関する情報量の充実度



健康や福祉サービスに関する情報量の充実度についてたずねたところ、「おおむね足りている」(41.5%)が4割強と最も高く、次いで、「やや不足している」(21.9%)、「足りている」(14.6%)の順となっている。

④高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険についての要望・意見

問44 高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険について、区へのご要望・ご意見がありましたらご自由にお書きください。

高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険についてたずねたところ、106人からの回答があった。回答の多かった内容は、「介護保険・保険料について」「サービスについて」「高齢者施策について」の順であった。

各事項（その他除く）について、回答の中からいくつかの意見を示す。

| | | | | | | | | | | | |
|--------------|----------|-----------|-------------|-------------|-----------|---------|-----------|---------------|---------------|-----------|-----|
| 介護保険・保険料について | サービスについて | 高齢者施策について | 情報提供・相談について | 高齢者向け施設について | 医療・保健について | 住まいについて | アンケートについて | 家族等介護者のことについて | 地域のコミュニティについて | 独居高齢者について | その他 |
| 30 | 26 | 9 | 9 | 8 | 5 | 5 | 4 | 2 | 2 | 2 | 6 |

※1人で複数の記載内容があるため、合計の件数と回答者数は一致しない。

【介護保険・保険料について】

- ・保険料が高額すぎる。気軽に利用できない。
- ・介護保険サービスをもっときめ細かいものにしてほしい。

【サービスについて】

- ・利用できるものがない。あっても気に入らないものだったり、結局、自費で購入するかサービスを受けることになってしまう。
- ・ケアマネジャーの育成に力を入れてもらいたい。福祉や介護はやはり担当する人により変わるので、おだやかな人、優しい人、笑顔で接してほしい。

【高齢者施策について】

- ・福祉のバラまきではなく、本当にどの程度の助けが必要なのか、ケアマネジャーの力量がとても大切に感じます。

【情報提供・相談について】

- ・各担当部所からの封筒（お知らせ等々）が、たくさんありすぎ失くしてしまいます。1冊にまとめて見出しをつけてわかりやすく、大きな字のパンフレットにしていただけると助かります。

【高齢者向け施設について】

- ・少し近いところに高齢者が集まれる場所がほしいです。

【医療・保健について】

- ・怪我などの場合、病院より退院した後のケアをきちんとしていただける制度の仕組みをお願いします。

【住まいについて】

- ・動けなくなったとき入所できる、ケア付き老人ホームの充実をお願いしたいと思います。

【アンケートについて】

- ・アンケートを記入しながら、エンディングノートの必要性を痛感しています。

【家族等介護者のことについて】

- ・兄弟の長男ですが年1、2回位で用事がないと連絡なし。そのときになってみないとわかりません。

【地域のコミュニティについて】

- ・近所5～6軒の皆さん、お会いできませんし、お顔を見たこともございませんので移って来て5～6年になりますが、何事か起きたら近所のつながりもないので困っています。

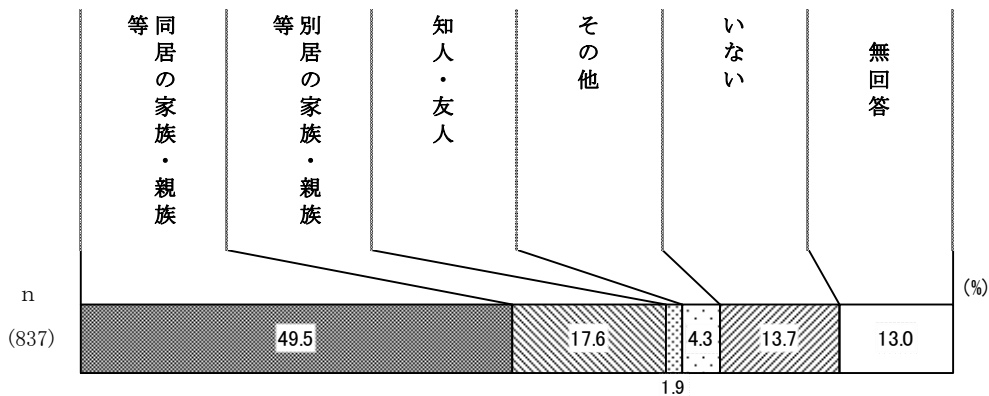
【独居高齢者について】

- ・知人に孤独死をした人がいて今の状況だと私も同様の状況になると思い、一日一度決まった時間に電話をして安否確認をしてくれるようにしてほしい。

⑤主な介護者

問45 あなたを主に介護している方はどなたですか。(1つに○)

<図表218> 主な介護者



主な介護者についてたずねたところ、「同居の家族・親族等」(49.5%)が5割弱で最も高く、次いで、「別居の家族・親族等」(17.6%)の順となっている。一方、「いない」(13.7%)は1割台半ば近くとなっている。

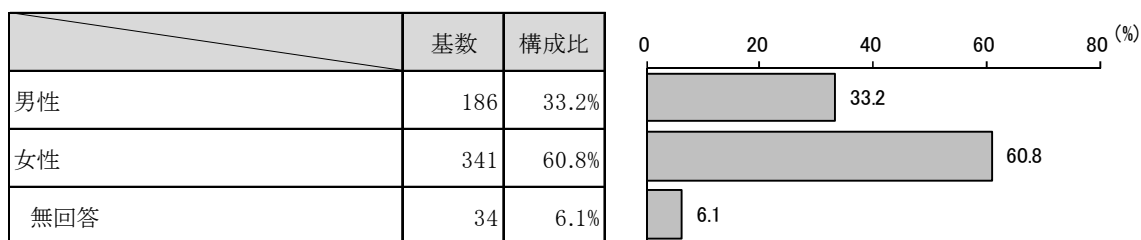
(15) 家族等介護者の状況について

《問46から問58までは、主な介護者の方（以下、「あなた」）におたずねします。》

①主な介護者の性別

問46 あなたの性別をお選びください。（1つに○）

<図表219> 主な介護者の性別

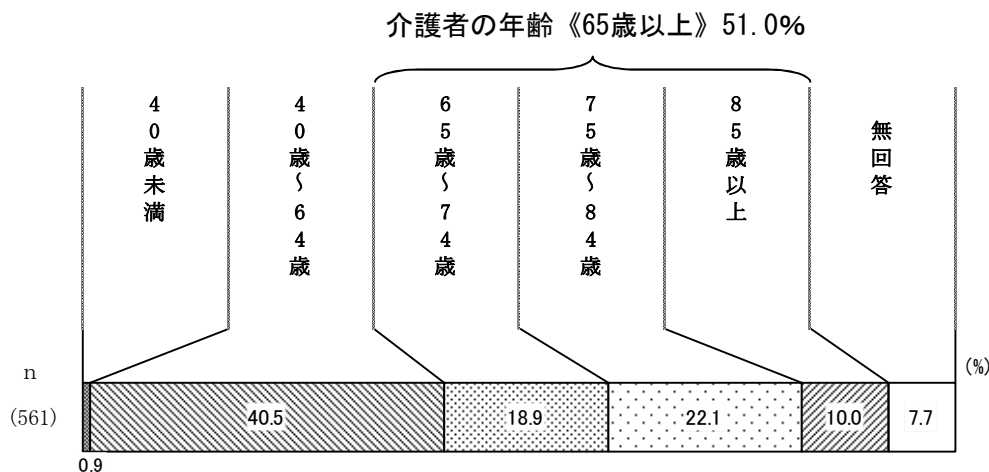


主な介護者の性別についてたずねたところ、「男性」（33.2%）は3割台半ば近く、「女性」（60.8%）は約6割となっている。

②主な介護者の年齢

問47 あなたの年齢をご記入ください。 ※令和元年9月1日現在の年齢でお答えください。

<図表220> 主な介護者の年齢

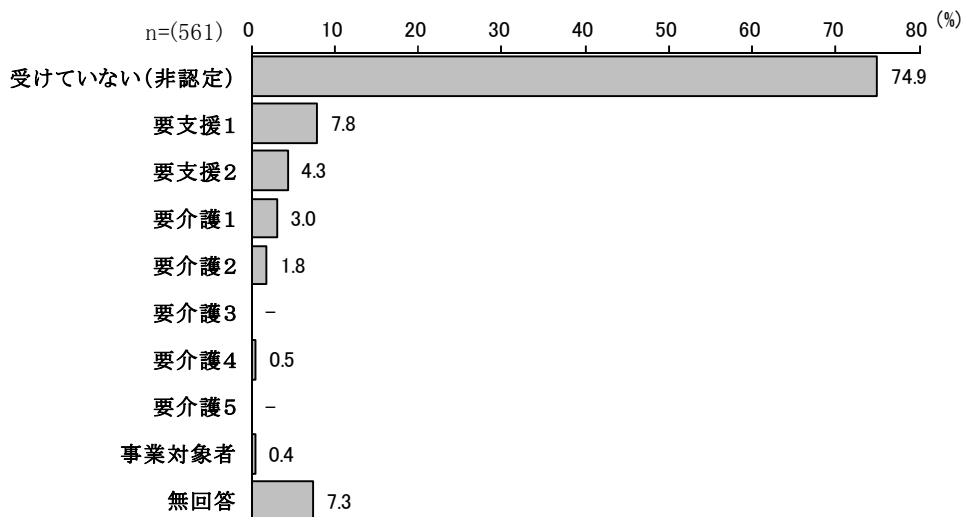


主な介護者の年齢についてたずねたところ、「40歳～64歳」（40.5%）が約4割で最も高くなっている。また、「65歳～74歳」（18.9%）、「75歳～84歳」（22.1%）、「85歳以上」（10.0%）を合わせた《65歳以上》は51.0%となっている。

③主な介護者の要介護認定

問48 あなたは、介護保険の認定を受けていますか。(1つに○)

<図表221> 主な介護者の要介護認定

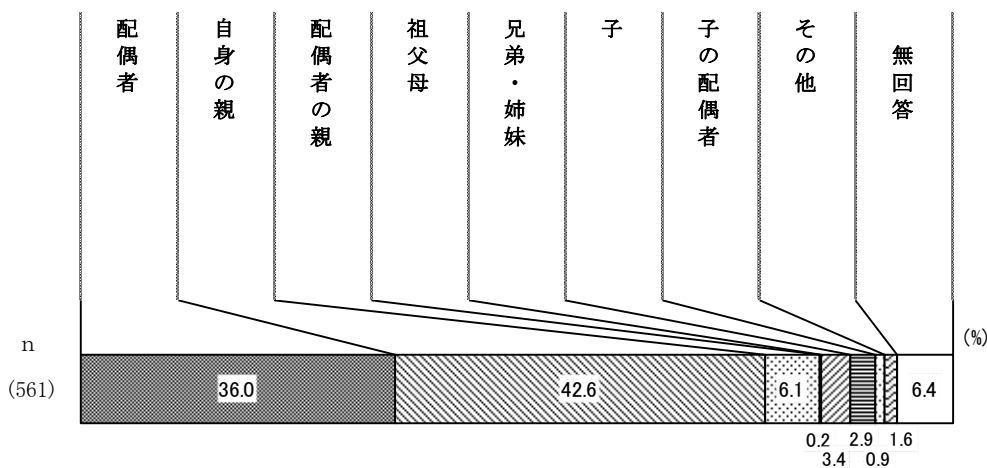


主な介護者の要介護認定についてたずねたところ、「受けていない（非認定）」（74.9%）が7割台半ば近くで最も高くなっている。

④宛名のご本人との関係

問49 あなたからみて、宛名のご本人はどちらにあたりますか。(1つに○)

<図表222> 宛名のご本人との関係

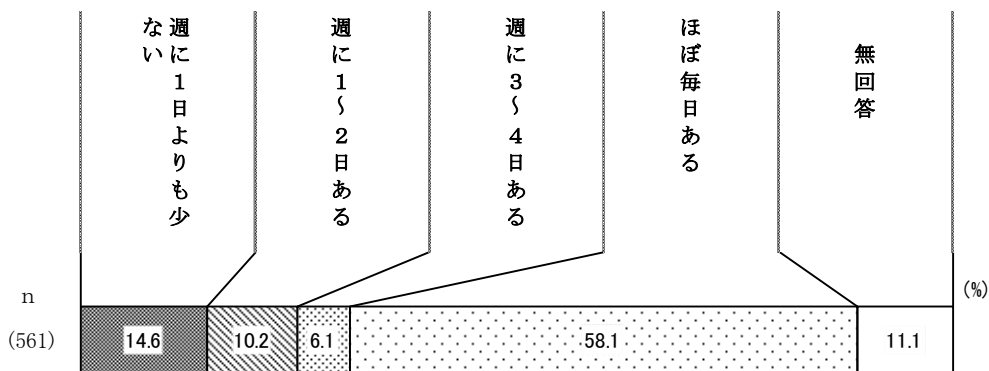


宛名のご本人との関係についてたずねたところ、「自身の親」（42.6%）が4割強で最も高く、次いで、「配偶者」（36.0%）の順となっている。

⑤介護の頻度

問50 あなたは、宛名のご本人を週にどのくらい介護していますか。(1つに○)

<図表223> 介護の頻度

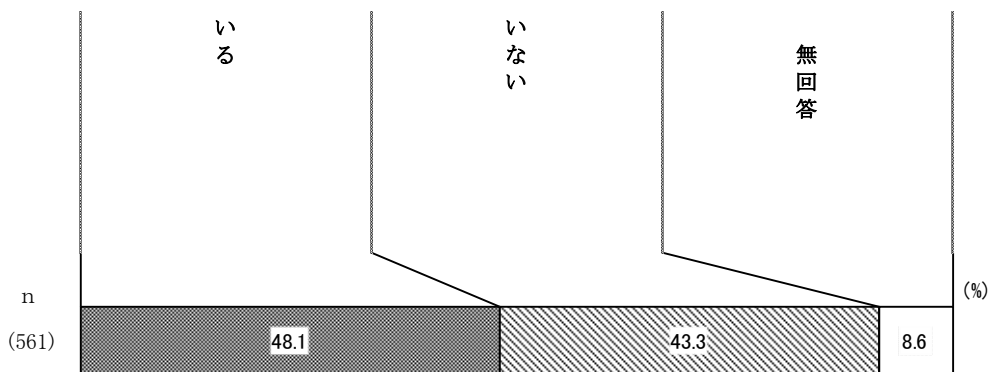


介護の頻度についてたずねたところ、「ほぼ毎日ある」(58.1%)が6割近くで最も高く、次いで、「週に1日よりも少ない」(14.6%)、「週に1~2日ある」(10.2%)の順となっている。

⑥副介護者の有無

問51 あなたを手助けするような、副介護者の方はいますか。(1つに○)

<図表224> 副介護者の有無



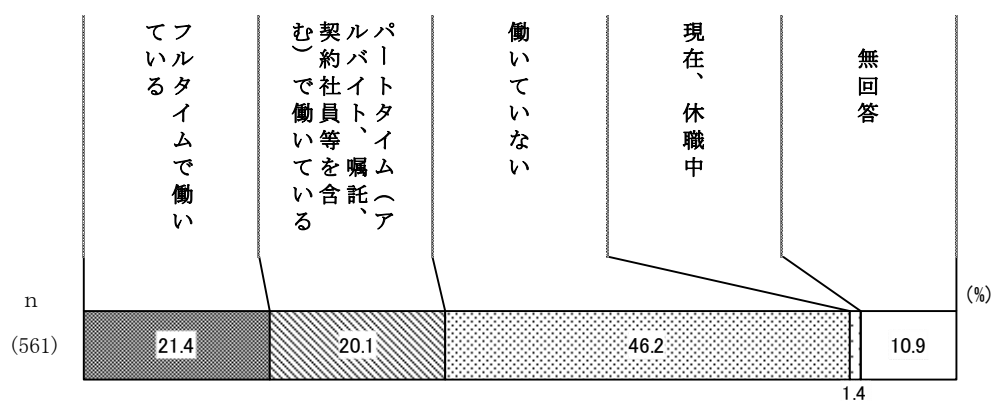
副介護者の有無についてたずねたところ、「いる」(48.1%)は5割近く、「いない」(43.3%)は4割台半ば近くとなっている。

⑦現在の勤務形態

問52 あなたの現在の勤務形態は、次のどれですか。(1つに○)

※自営業・フリーランスの場合も、就労時間等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

<図表225> 現在の勤務形態

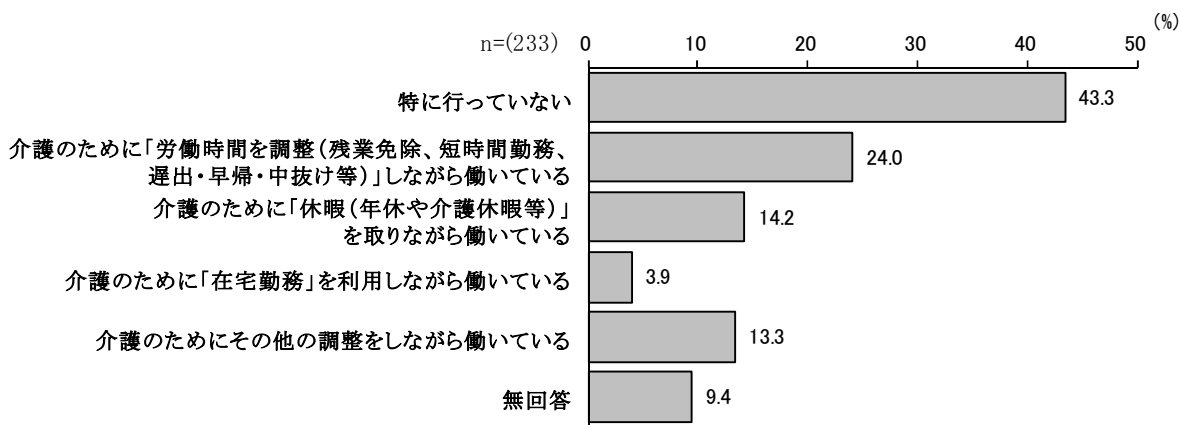


現在の勤務形態についてたずねたところ、「働いていない」(46.2%)が4割台半ばを超えて最も高く、次いで、「フルタイムで働いている」(21.4%)、「パートタイム(アルバイト、嘱託、契約社員等を含む)で働いている」(20.1%)の順となっている。

⑧働き方の調整

問52-1 <<問52で「フルタイムで働いている」または「パートタイム（アルバイト、嘱託、契約社員等を含む）で働いている」を選んだ方のみお答えください>>
 介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。
 （あてはまるものすべてに○）

<図表226> 働き方の調整（複数回答）



問52で「フルタイムで働いている」または「パートタイム（アルバイト、嘱託、契約社員等を含む）で働いている」と回答した人に、働き方の調整についてたずねたところ、「特に行っていない」（43.3%）が4割台半ば近くとなっている。働き方の調整等の内容は、「介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら働いている」（24.0%）が2割台半ば近くとなっている。

<図表227> 働き方の調整【ご自身の暮らし向き別（問7）】

(%)

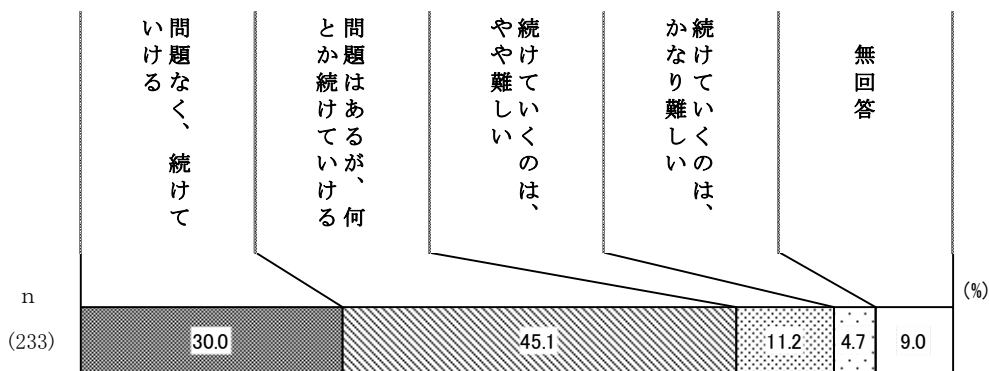
| | | 調査数 (件) | 特に行っていない | 介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら働いている | 介護のために「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている | 介護のために「在宅勤務」を利用しながら、働いている | 介護のため、その他の調整をしながら、働いている | 無回答 |
|-------|----------|------------|----------|---|----------------------------------|---------------------------|-------------------------|------|
| 全 体 | | 233 | 43.3 | 24.0 | 14.2 | 3.9 | 13.3 | 9.4 |
| 暮らし向き | ゆとりがある | 19 | 47.4 | 15.8 | 26.3 | 5.3 | 5.3 | 5.3 |
| | ややゆとりがある | 29 | 51.7 | 27.6 | 6.9 | - | 6.9 | 6.9 |
| | 普通 | 130 | 48.5 | 20.0 | 11.5 | 3.1 | 13.8 | 10.8 |
| | やや苦しい | 34 | 20.6 | 41.2 | 23.5 | 5.9 | 14.7 | 11.8 |
| | 苦しい | 15 | 33.3 | 20.0 | 20.0 | 13.3 | 20.0 | - |

暮らし向き別にみると、普通の場合「特に行っていない」（48.5%）が5割近く、やや苦しい場合「介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら働いている」（41.2%）が4割強と高くなっている。

⑨今後も働きながら介護を続けていくこと

問52-2 <<問52で「フルタイムで働いている」または「パートタイム（アルバイト、嘱託、契約社員等を含む）で働いている」を選んだ方のみお答えください>>
 今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（1つに〇）

<図表228> 今後も働きながら介護を続けていくこと

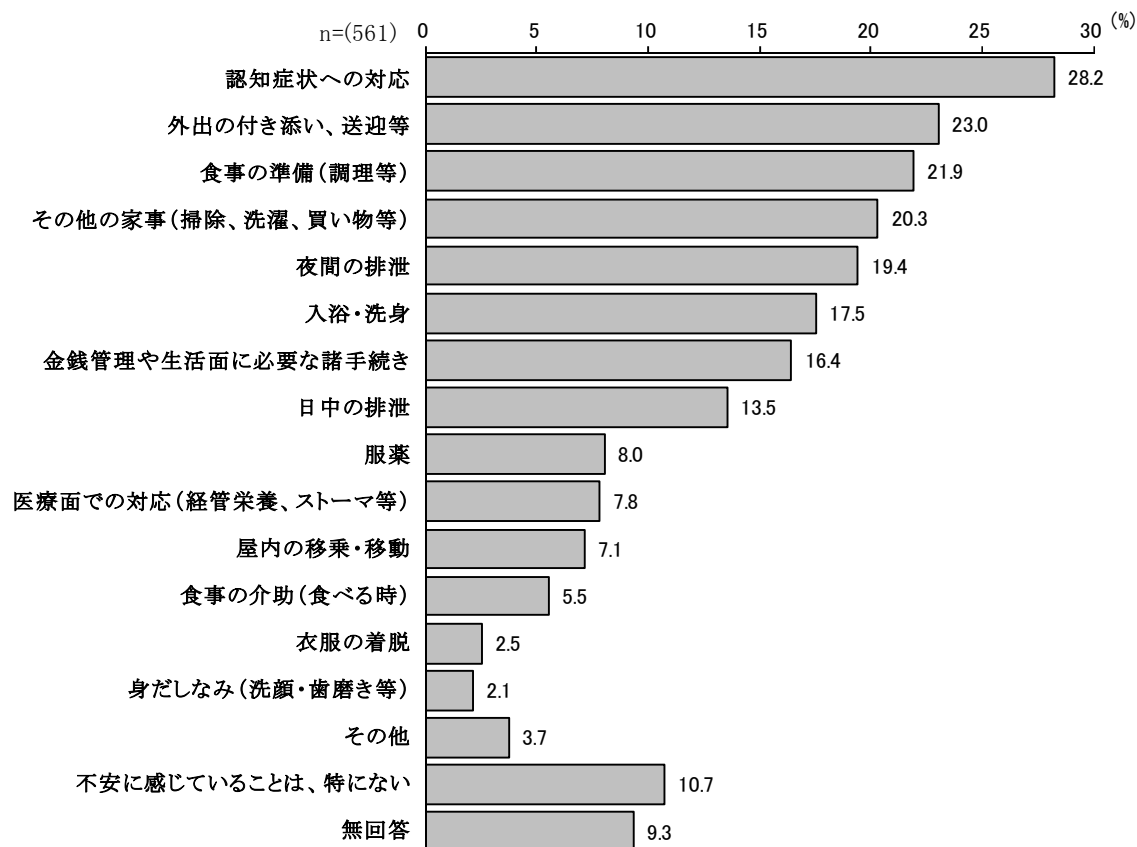


今後も働きながら介護を続けていくことについてたずねたところ、「問題はあがあるが、何とか続けていける」(45.1%)が4割台半ばで最も高く、次いで、「問題なく、続けていける」(30.0%)、「続けるのは、やや難しい」(11.2%)の順となっている。

⑩現在の生活を継続していくうえで不安を感じる介護

問53 現在の生活を継続していくにあたって、不安を感じる介護等は次のうちどれですか。
 (現状で行っているか否かは問いません) (あてはまるもの3つまでに○)

<図表229> 現在の生活を継続していくうえで不安を感じる介護 (複数回答)

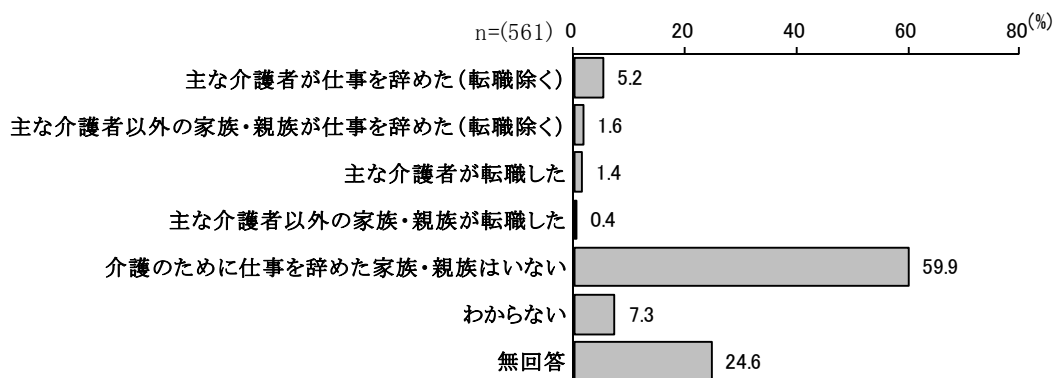


現在の生活を継続していくうえで不安を感じる介護についてたずねたところ、「認知症状への対応」(28.2%)が3割近くと最も高く、次いで、「外出の付き添い、送迎等」(23.0%)、「食事の準備(調理等)」(21.9%)の順となっている。

⑪介護を主な理由として退職した家族・親族の有無

問54 宛名のご本人の介護を主な理由として、過去1年の間にご家族やご親族の中で仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)
(あてはまるものすべてに○)

<図表230> 介護を主な理由として退職した家族・親族の有無 (複数回答)

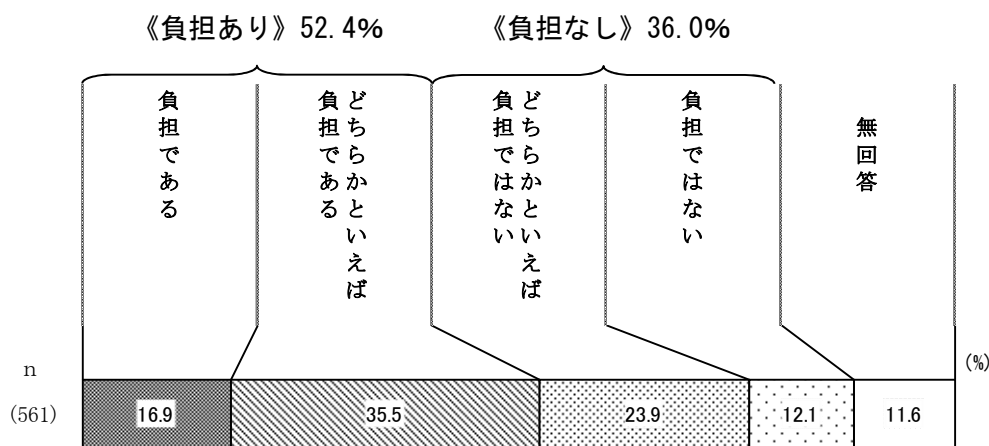


介護を主な理由として退職した家族・親族の有無についてたずねたところ、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」(59.9%)が6割弱となっている。退職した人については、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が5.2%となっている。

⑫介護負担感

問55 あなたの介護負担感は、次のうちどれですか。(1つに○)

<図表231> 介護負担感

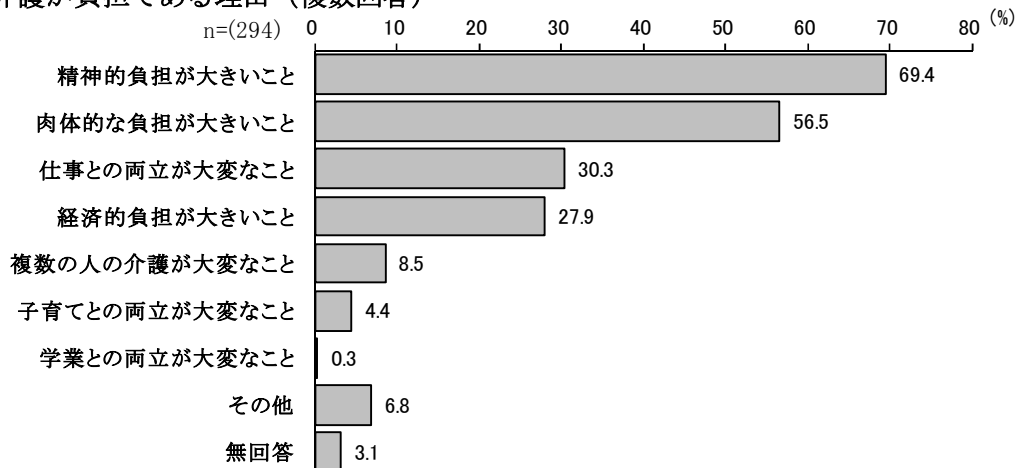


介護負担感についてたずねたところ、「負担である」(16.9%)と「どちらかといえは負担である」(35.5%)をあわせた《負担あり》は52.4%となっている。

⑬介護が負担である理由

問55-1 《問55で「負担である」または「どちらかといえば負担である」を選んだ方のみお答えください》
それはどのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

<図表232> 介護が負担である理由 (複数回答)

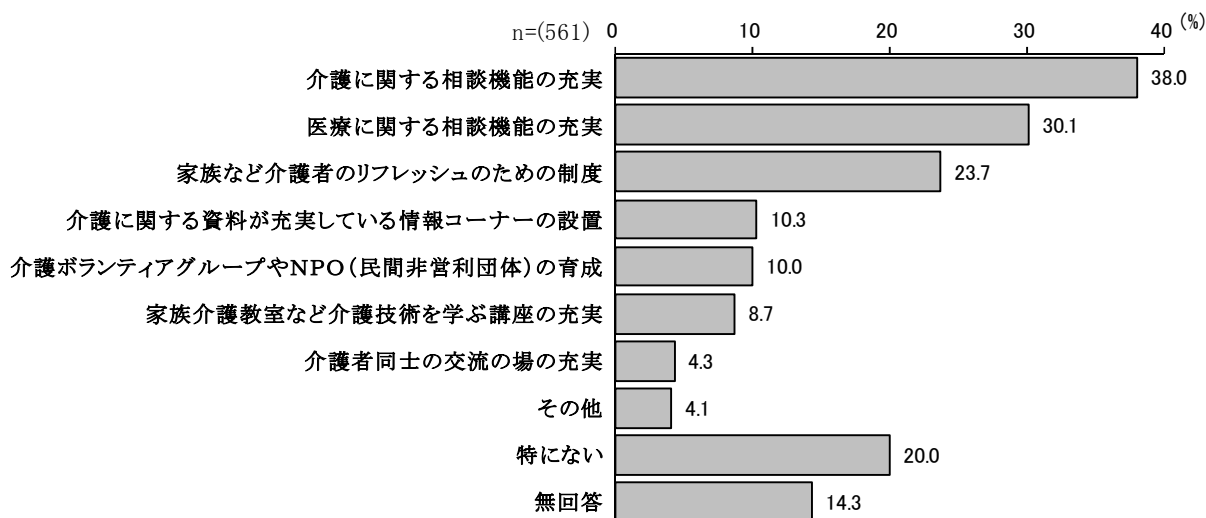


介護が負担である理由についてたずねたところ、「精神的負擔が大きいこと」(69.4%)が7割弱で最も高く、次いで、「肉体的な負擔が大きいこと」(56.5%)、「仕事との両立が大変なこと」(30.3%)の順となっている。

⑭介護者への支援として、新宿区に力を入れてほしいこと

問56 介護者(あなた)への支援として、区に力を入れてほしいことは、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

<図表233> 介護者への支援として、新宿区に力を入れてほしいこと (複数回答)



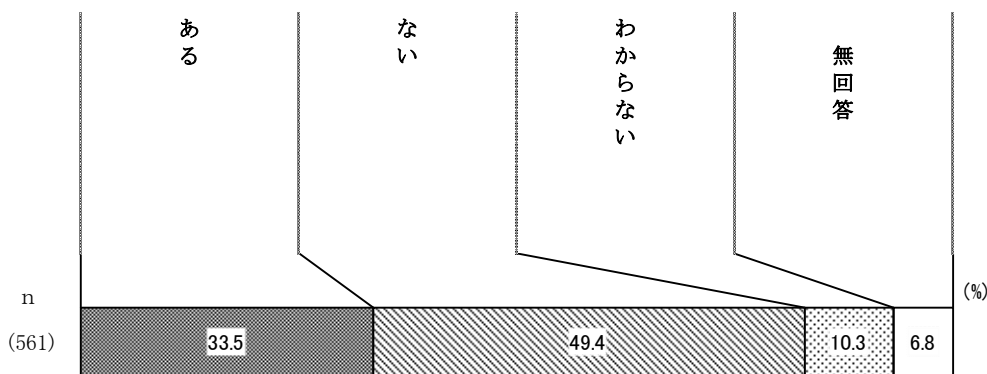
介護者への支援として、新宿区に力を入れてほしいことについてたずねたところ、「介護に関する相談機能の充実」(38.0%)が4割近くで最も高く、次いで、「医療に関する相談機能の充実」(30.1%)、「家族など介護者のリフレッシュのための制度」(23.7%)の順となっている。

(16) (宛名のご本人の)認知症について

①認知症の症状の有無

問57 あなたが介護をしている方(宛名のご本人)には、認知症の症状がありますか。
(1つに○)

<図表234> 認知症の症状の有無

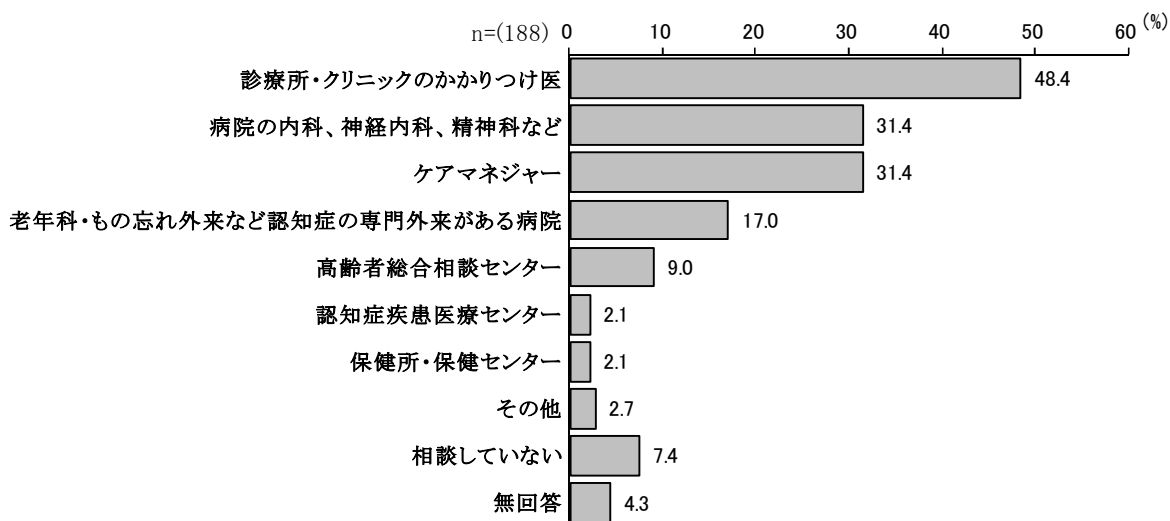


認知症の症状の有無についてたずねたところ、「ある」(33.5%)は3割台半ば近くとなっている。

②認知症についての相談先

問57-1 <<問57で「ある」を選んだ方のみお答えください>>
あなたは、介護している方が認知症ではないかと気づいた、あるいは不安になったときに、どちらに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

<図表235> 認知症についての相談先(複数回答)

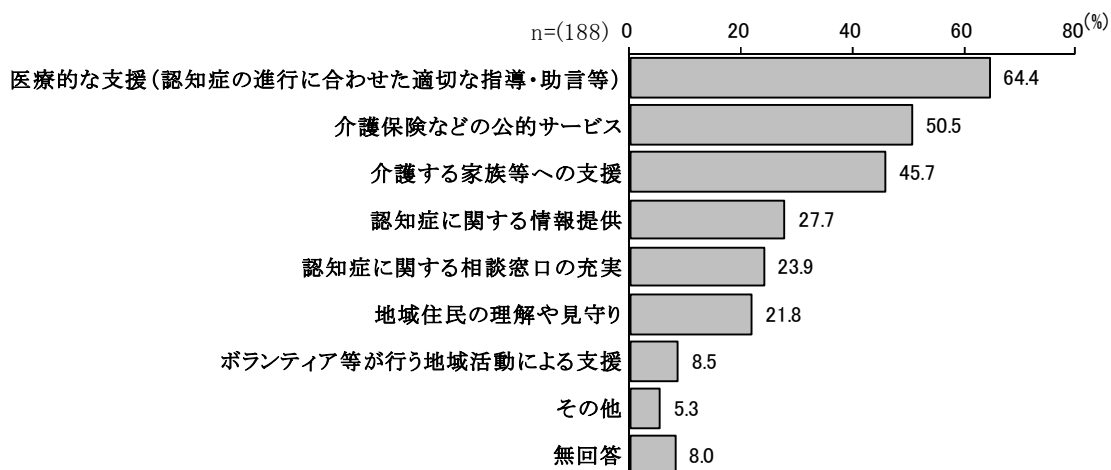


問57で認知症の症状が「ある」と回答した人に、認知症についての相談先をたずねたところ、「診療所・クリニックのかかりつけ医」(48.4%)が5割近くと最も高く、次いで、「病院の内科、神経内科、精神科など」及び「ケアマネジャー」(ともに31.4%)の順となっている。

③認知症の介護で必要と思うこと

問57-2 <<問57で「ある」を選んだ方のみお答えください>>
 認知症のご本人の介護において、必要と思うことは何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

<図表236> 認知症の介護で必要と思うこと (複数回答)



問57で認知症の症状が「ある」と回答した人に、認知症の介護で必要と思うものについてたずねたところ、「医療的な支援(認知症の進行に合わせた適切な指導・助言等)」(64.4%)が6割台半ば近くで最も高く、次いで、「介護保険などの公的サービス」(50.5%)、「介護する家族等への支援」(45.7%)の順となっている。

④高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険についての要望・意見

問58 介護者の立場から、高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険について、区へのご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険についてたずねたところ、141人からの回答があった。回答の多かった内容は、「サービスについて」「家族等介護者のことについて」「介護保険・保険料について」の順であった。

各事項（その他除く）について、回答の中からいくつかの意見を示す。

| サービスについて | 家族等介護者のことについて | 介護保険・保険料について | 情報提供・相談について | 高齢者施策について | 高齢者向け施設について | アンケートについて | 医療・保健について | 認知症について | その他 |
|----------|---------------|--------------|-------------|-----------|-------------|-----------|-----------|---------|-----|
| 39 | 23 | 16 | 13 | 12 | 9 | 9 | 6 | 6 | 13 |

※1人で複数の記載内容があるため、合計の件数と回答者数は一致しない。

【サービスについて】

- ・家族が介護していますが、レスパイト入院や、ショートステイを充実していただきたい。
- ・ヘルパーさんのできる仕事を増やしてほしい。

【家族等介護者のことについて】

- ・老々介護に対する生活支援。介護者が介護認定を受けていない場合、介護者が年を重ねても生活支援が受けられない。
- ・区で行っているリフレッシュ（介護者のための）対策をもう少し考えてもらえたらと思います。

【介護保険・保険料について】

- ・介護保険を利用していないので、その利用しない者への配慮があってもいいのではないのでしょうか。
- ・高齢化社会の加速を感じていて、もう少し支援、介護のしくみを簡素化できたらありがたいです。

【情報提供・相談について】

- ・色々な制度について、アンケート内に説明がなされているが、今後の参考に、別に手元における小冊子も用意してほしい。読んでもすぐに忘れる。
- ・補助金の情報など、区の方から教えてほしい。知らないうちに、期限が過ぎてしまったりしているため、わかりやすく通知してほしい。

【高齢者施策について】

- ・福祉に携わる人達がゆとりある生活ができるバックアップの充実。
- ・生活介助については、もう少し柔軟に対応して欲しい。通院介助（病院の中も付き添う）も介護保険の対応になって欲しい。

【高齢者向け施設について】

- ・将来を考えるとショートステイ等、家族が安心してあずけられる家庭的で暖かい環境の施設を作っていただきたい。

【アンケートについて】

- ・このアンケート調査に答えるにあたり、改めて、自分のしていること、しなければならないこと、聞いておいた方がよいことを再認識しました。

【医療・保健について】

- ・訪問医療が可能な医院が増えること。

【認知症について】

- ・認知症の対応と判断が難しい。